






令和4年度

郡山北工業高校大規模改造工事（建築・4期）

(株)清水公夫研究所

A 条文適用

部長	課長	課	員	主任
				

福島県建築関係工事特記仕様書【R4年10月版】

I 工事概要

1 工事名称 郡山北工業高校大規模改修工事(建築・4期)
2 工事場所 郡山市八山田二丁目
3 建物概要

Table with 6 columns: 建物名称, 構造, 階数, 延面積 (㎡), 消防法施行令別表第1区分, 備考. Row 1: 学校(高等学校), RC造, 3, 7,240㎡, 学校.

※詳細は工事概要による。

4 電気設備工事概要

Table for electrical equipment specifications including power supply, power storage, lighting, and control equipment details.

5 機械設備工事概要

Table for mechanical equipment specifications including air conditioning, heating, hot water, drainage, fire, and gas equipment.

II 工事仕様

1 図面及び本特記仕様書に記載なき事項は、次による。
※「福島県建築関係工事共通仕様書」(福島県土木部)
※「公共建築工事標準仕様書(建築工事編)」(令和4年版)
※「公共建築工事標準仕様書(電気設備工事編)」(令和4年版)
※「公共建築工事標準仕様書(機械設備工事編)」(令和4年版)
※「公共建築工事標準仕様書(建築工事編)」(令和4年版)
※「公共建築改修工事標準仕様書(建築工事編)」(令和4年版)
※「公共建築改修工事標準仕様書(電気設備工事編)」(令和4年版)
※「公共建築改修工事標準仕様書(機械設備工事編)」(令和4年版)
※「公共建築木造工事標準仕様書」(令和4年版)
※「建築物解体工事共通仕様書」(令和4年版)
なお、公共住宅建設にあっては、次を併せて適用する。
※「公共住宅建設工事共通仕様書(令和元年度版)」(公共住宅事業者等連絡協議会編集)
2 項目は、番号の前に○印、または番号に○印の付いたものを適用する。適用しない項目等は斜線、・印、または無印とする。
3 特記事項は、○印の付いたものを適用する。○印の付かない場合は、※印の付いたものを適用する。○印と※印の付いた場合は、両方を適用する。※印を適用しない場合は、・に替えること。
4 形状寸法の単位は、特記した場合を除きミリメートルとする。
5 各章の特記事項欄にある「[]」と表示されているものは、「建築関係工事共通仕様書」を示し、「()」書きは「公共建築工事標準仕様書」、「[]」書きは「公共建築改修工事標準仕様書」の章・節・項番号である。
6 本特記仕様書に選択項目がない場合は、空欄等に仕様を記載する。

Main specification table with columns: 項目, 特記事項. Includes sections for general conditions, construction conditions, work data, skills, MEP, and construction materials.

Table with columns: 1, 20, 21, 22, 23, 24, 25, 26, 27, 28, 29, 30, 31, 32, 33, 34, 35, 2, 1, 2, 3, 4, 5, 6, 7, 8, 9, 3, 1, 2, 16, 17, 18, 19. Contains detailed specifications for construction equipment, design, safety, materials, and site management.

<p>① 防水改修工事</p> <p>1 降雨等に対する養生方法(とい共) [3.1.3] ※ 改修標仕 3.1.3(5)(7)~(9) による ()</p> <p>2 既存防水の処理 [3.2.3~4] [3.2.6] 既存保護層の撤去 ・ 行う (範囲・図示による ()) ・ 行わない () 既存防水層の撤去 ・ 行う (範囲・図示による ()) ・ 行わない () 露出防水層表面の仕上げ塗装除去 ・ 行う (M4AS ・ M4ASI ・ M4C ・ M4DI ・ L4X) ・ 行わない ()</p> <p>3 既存防水層の下地補修 [3.2.6] 補修箇所の形状、長さ、数量等 ※ 図示による ()</p> <p>4 アスファルト防水 [表3.1.1] [3.3.3] [表3.3.3~表3.3.10] 施工箇所 防水改修工法の種類 新規防水層の種類</p> <p>屋根保護(露出)防水断熱工法の断熱材厚さ ※ 25 () 材質 ()</p> <p>防水立上り部の保護の方法 [3.3.2~3] [3.3.5] [表3.3.3~表3.3.10] ・ 乾式保護材 (性能は建築材料等品質性能表による) ・ セメントれんが () ・ ()</p> <p>5 改質アスファルトシート防水 [表3.1.1] [3.4.2~3] [表3.4.1~3] 施工箇所 工法 新規防水層の種類 仕上塗料</p> <p>6 合成高分子系ルーフィングシート防水 [表3.1.1] [3.5.2~3] [表3.5.1~2] 施工箇所 工法 新規防水層の種類 仕上塗料(露出の場合)</p> <p>7 塗膜防水 [表3.1.1] [3.6.3] [表3.6.1~2] 施工箇所 工法 新規防水層の種類 仕上塗料</p> <p>8 脱気装置 [3.3.3] [3.4.3] [3.5.3] ※ 主材料製造所の指定する製品 ()</p> <p>9 ルーフドレン [3.8.2] [表3.8.1] 材質 ※ 改修標仕 表3.8.1 による ・ 図示による ()</p> <p>10 改修用ドレン [3.2.5] ○ 設ける (POAS, POASI, POD, PODI, POS, POSI, POX工法の場合) 主材料製造所の指定する製品</p> <p>11 シーリング [3.1.4] [表3.1.2] シーリング改修工法の種類 [3.7.4] [表3.1.2] ○ シーリング充填工法 [3.7.4] ・ シーリング再充填工法 [3.7.5] ・ 拡張シーリング再充填工法 [3.7.6] ・ プリッジ工法 [3.7.7] ・ ボンドプレーカー張り ・ エッジング材張り</p> <p>接着性試験 ・ 簡易接着性試験 [3.7.8] ・ 引張接着性試験 (部位 ()) ・ 2面接着とする範囲 ※ 「金属と金属」及び「金属とガラス」 ()</p> <p>12 とい [3.8.2] [表3.8.1] 種別 材種 径 施工箇所 備考</p> <p>13 アルミニウム製笠木 [3.9.2] [表3.9.1] 部材の種類 [3.9.2] [表3.9.1] ・ 押出し250形 ・ 押出し300形 ・ 押出し350形 ・ 板折り曲げ形 (本体幅(mm) (), 板厚(mm) ※ 2 ()) 表面処理 [3.9.2] [表3.9.2] 表面処理の種類 ※ 改修標仕 表5.2.2による () 笠木の下地補修 [3.9.3] ・ 行う ・ 行わない ・ 行う場合の工法 ※ 図示による ()</p> <p>14 防水施工履歴 ※ 適用する ・ 適用しない ※ 表示内容は監督員と協議による</p>	<p>② 外壁改修工事</p> <p>C 1 ひび割れ部改修工法 [4.1.4] [4.2.2] [4.3.4] ・ コンクリート打放し仕上げ ・ モルタル塗り仕上げ ・ タイル張り仕上げ</p> <p>2 欠損部改修工法 [4.1.4] [4.2.2] [4.3.3] [4.3.7] ・ コンクリート打放し仕上げ ・ モルタル塗り仕上げ ・ タイル張り仕上げ</p> <p>3 浮き部改修工法 [4.1.4] [4.2.2] [4.3.5] ・ モルタル塗り仕上げ ・ タイル張り仕上げ</p> <p>4 モルタル塗替え [4.2.2] [4.4.9] モルタル ※ 改修標仕 4.2.2(7) による () 吸水調整材 既製目地材 ・ 使用する ・ 使用しない</p> <p>5 タイル張り [4.2.2] タイルの種類 [4.2.2] 施工箇所 形状・寸法 吸水率による区分 I類 II類 III類 用途 無釉有釉 標準 特注 再資源 備考</p> <p>6 下地処理 [4.6.3] 既存塗膜劣化部の除去、下地処理の工法 [4.6.3] 材料 処理範囲 備考</p> <p>7 仕上塗材仕上げ [4.2.2] ・ 仕上塗材における防火材料の指定 [4.2.2] ・ 薄付け仕上塗材 [4.1.5] [4.2.2] [表4.2.4] 呼び名 仕上げの形状 工法 備考</p> <p>8 複層仕上塗材 [4.1.5] [4.2.2] [表4.2.4~5] 呼び名 仕上げの形状 工法 備考</p>	<p>③ 建具改修工事</p> <p>1 改修工法 [5.1.3] ・ 撤去工法 ・ 図示による () ・ 新規に建具を設ける場合の、壁部分の開口の開け方及び周囲の補修工法並びにその範囲は、図示による</p> <p>2 防火戸 [5.1.4] ・ 適用する (図示による) ・ 適用しない</p> <p>3 アルミニウム製建具 [5.2.2~4] [表5.2.1~2] 種別 外部に面する建具 内部建具</p> <p>4 樹脂製建具 [5.3.2~4] [表5.3.1~3] 種別 外部に面する建具 内部建具</p> <p>5 網戸等 [5.2.3] 種別 材質 線径 網目</p> <p>6 鋼製建具 [5.4.2~4] [表5.4.1~2] 種別 簡易気密型ドアセットの性能 外部に面する建具の耐風圧性 鋼板の厚さ 鋼板の種類及びめっきの付着量</p> <p>7 鋼製軽量建具 [5.5.2~4] [表5.5.1] 種別 簡易気密型ドアセットの気密性の等級 戸の鋼板 鋼板の厚さ</p> <p>8 ステンレス建具 [5.6.3] 鋼板 (屋外) ※ SUS304 ・ SUS430J1L ・ SUS443J1 (屋内) ・ SUS304 ・ SUS430J1L ・ SUS443J1 ・ SUS430</p> <p>9 木製建具 [5.7.1~2] 建具材の含水率 ・ A種 ※ B種 ・ C種 (標仕16.7.2) (標仕16.7.1) ○ フラッシュ戸 (標仕16.7.2~4) (標仕16.7.5~7)</p> <p>10 建具用金物 [5.7.2~4] [表5.7.1~2] ・ マスターキー ・ 製作する (新規・既存に合わせる) ・ 製作しない</p> <p>11 重量シャッター [5.10.2~4] 種別 シャッターケース 耐風圧性能 開閉形式 備考</p> <p>12 軽量シャッター [5.11.2~4] 開閉形式 シャッターケース 耐風圧性能 スラット 備考</p>	<p>工事名称 郡山北工業高校大規模改修工事(建築・4期)</p> <p>図面名称 建築改修工事特記仕様書(1)</p> <p>図面番号 A-2</p>
---	--	---	--

Table with 5 columns: Item No., Description, Material/Specification, and Reference. Includes items like 13 オーバーヘッドドア, 16 ガラス, 17 ガラス留め材, 18 ガラスブロック積み.

Table with 5 columns: Item No., Description, Material/Specification, and Reference. Includes items like 1 改修範囲, 2 既存床の撤去及び下地補修, 3 既存壁の撤去及び下地補修, 4 接着剤, 5 木下地等.

Table with 5 columns: Item No., Description, Material/Specification, and Reference. Includes items like 6 パーティクルボード, 7 木材保存剤, 8 軽鉄骨天井下地, 9 軽鉄骨壁下地, 10 ビニル床シート, 11 ビニル床タイル, 12 ビニル幅木.

Table with 5 columns: Item No., Description, Material/Specification, and Reference. Includes items like 13 カーペット敷き, 14 合成樹脂塗床, 15 フローリング張り.

Table with 5 columns: Item No., Description, Material/Specification, and Reference. Includes items like 16 タイル張り, 17 セルフレベリング材塗り, 18 仕上塗材仕上げ, 19 フリーアクセスフロア, 20 可動間仕切, 21 移動間仕切, 22 トイレブース, 23 視覚障がい者用床タイル, 24 階段滑り止め, 25 床目地棒, 26 階段手すり, 27 ブラインド.

④ 内装改修工事	28 カーテン	<ul style="list-style-type: none"> 再使用する [2.3.1] [5.1.6] 新設する (20.2.14) (表20.2.1) <table border="1"> <thead> <tr> <th>形式</th> <th>開閉操作</th> <th>ひだの種類</th> <th>きれ地の種別</th> <th>品質、特殊加工</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>・シングル ・ダブル</td> <td>※ 手引き ・ 引分け</td> <td>・ フランスひだ ・ 箱ひだ、つまひだ ・ プレーンひだ、片ひだ</td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	形式	開閉操作	ひだの種類	きれ地の種別	品質、特殊加工	・シングル ・ダブル	※ 手引き ・ 引分け	・ フランスひだ ・ 箱ひだ、つまひだ ・ プレーンひだ、片ひだ			⑦ 環境配慮（グリーン）改修工事	1 石綿含有吹付け材の処理	<p>※ 福島県吹き付けアスベスト改修工事共通仕様書による。</p> <p>とりこわし工事に先立ち、石綿含有吹付け材の除去工事を行う。 [9.1.1]</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>処理工法</th> <th>施工場所</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>※ 除去処理</td> <td></td> </tr> <tr> <td>※ 封じ込め処理</td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>建築物などの保全技術・技術審査証明事業により証明された業者及び工法とする。</p> <p>分析による石綿含有調査 ※ 行う ・行わない</p> <p>※ 測定点（図示による） ※ 監督員との協議による</p> <p>※ プラスチック2重袋による密封処理 [9.1.3(2)(4)]</p> <p>石綿含有建材の取り扱いについては、石綿障害予防規則（平成17年2月24日厚生労働省令21号）を遵守すること。</p> <p>石綿含有成形板の種類等 [9.1.5]</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>種類</th> <th>厚さ(mm)</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>・化粧せつこうボード</td> <td>・9.5</td> <td></td> </tr> <tr> <td>○ビニル床タイル</td> <td>○2.0</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	処理工法	施工場所	※ 除去処理		※ 封じ込め処理		種類	厚さ(mm)	備考	・化粧せつこうボード	・9.5		○ビニル床タイル	○2.0								
	形式	開閉操作	ひだの種類	きれ地の種別	品質、特殊加工																																
・シングル ・ダブル	※ 手引き ・ 引分け	・ フランスひだ ・ 箱ひだ、つまひだ ・ プレーンひだ、片ひだ																																			
処理工法	施工場所																																				
※ 除去処理																																					
※ 封じ込め処理																																					
種類	厚さ(mm)	備考																																			
・化粧せつこうボード	・9.5																																				
○ビニル床タイル	○2.0																																				
○ 29 カーテンレール	<ul style="list-style-type: none"> 再使用する [5.1.6] 新設する (20.2.14) <p>材質 ※ アルミニウム製及びアルミニウム合金の押し成形板（アルマイト仕上げ）</p> <p>※ ステンレス製</p> <p>形状 ・ 角形 ・ ()</p>	○ 2 石綿含有成形板の処理等	<p>石綿含有建材の除去工事にあたっては、元請けとして特別管理産業廃棄物管理責任者を配置するとともに石綿予防規則関係法令に従い、適切に施工すること。ただし、石綿含有成形板の処理工事を除く。</p> <p>特別管理産業廃棄物責任者 廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条の2第8項に基づく配置技術者 なお、主任技術者・監理技術者であることを要しない。</p> <p>外断熱及び断熱材打込み工法 [9.3.2] [9.5.2]</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>種類</th> <th>種別</th> <th>厚さ(mm)</th> <th>施工箇所</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3">・押出法ポリスチレンフォーム</td> <td>・保温板(2種b)</td> <td>・25</td> <td rowspan="3">・接地点部分</td> </tr> <tr> <td>・保温板(3種b)</td> <td>・25</td> </tr> <tr> <td>・</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・硬質ウレタンフォーム</td> <td>・</td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>既存外壁の処置 [9.3.3]</p> <p>下地面の清掃 ・ 行う</p> <p>下地面欠損部の改修工法 ()</p> <p>通気層 ・ 有 (厚さ) ・ 無</p> <p>断熱材現場発泡工法 [9.5.3]</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>断熱性</th> <th>厚さ(mm)</th> <th>施工箇所</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>・A種1</td> <td>・25</td> <td>※密閉り等の断熱材補修部分、ルーフトレンドリの床版下等、部分的に後張りとしなければならない箇所</td> </tr> <tr> <td>・A種2</td> <td>・</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・A種3</td> <td>・</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・B種1</td> <td>・</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・B種2</td> <td>・</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	種類	種別	厚さ(mm)	施工箇所	・押出法ポリスチレンフォーム	・保温板(2種b)	・25	・接地点部分	・保温板(3種b)	・25	・		・硬質ウレタンフォーム	・			断熱性	厚さ(mm)	施工箇所	・A種1	・25	※密閉り等の断熱材補修部分、ルーフトレンドリの床版下等、部分的に後張りとしなければならない箇所	・A種2	・		・A種3	・		・B種1	・		・B種2	・	
種類	種別	厚さ(mm)	施工箇所																																		
・押出法ポリスチレンフォーム	・保温板(2種b)	・25	・接地点部分																																		
	・保温板(3種b)	・25																																			
	・																																				
・硬質ウレタンフォーム	・																																				
断熱性	厚さ(mm)	施工箇所																																			
・A種1	・25	※密閉り等の断熱材補修部分、ルーフトレンドリの床版下等、部分的に後張りとしなければならない箇所																																			
・A種2	・																																				
・A種3	・																																				
・B種1	・																																				
・B種2	・																																				
○ 30 カーテンボックス	<ul style="list-style-type: none"> 再使用する [5.1.6] 新設する <p>材質 ・ アルミニウム製既製品 (・ シルバー ・ 着色)</p> <p>・ 鋼製</p> <p>・ 木製</p>	3 特別管理産業廃棄物管理責任者																																			
○ 31 コーナービート（壁ボード出隅保護金物）	<p>材質 ※ アルミニウム押し成形材造込型 ()</p> <p>※ シルバー ()</p> <p>・ コーナー保護金物付きジョイントテープ</p>	4 断熱材																																			
○ 32 天井見切縁	<p>材質 ・ アルミニウム押し成形材 ※ 塩化ビニル製</p> <p>施工箇所 ※ 図示による ()</p>																																				
○ 33 点検口	<table border="1"> <thead> <tr> <th>形式</th> <th>材種</th> <th>寸法</th> <th>形式</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">天井</td> <td>○ アルミニウム製</td> <td>○ 450角 ・ 600角</td> <td rowspan="2">○ 一般形</td> <td rowspan="2">・ 継付き</td> </tr> <tr> <td>・</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="2">床</td> <td>・ アルミニウム製目地</td> <td>・ 450角</td> <td rowspan="2"></td> <td rowspan="2"></td> </tr> <tr> <td>○ ステンレス鋼製目地</td> <td>○ 600角</td> </tr> </tbody> </table>	形式	材種	寸法	形式	備考	天井	○ アルミニウム製	○ 450角 ・ 600角	○ 一般形	・ 継付き	・		床	・ アルミニウム製目地	・ 450角			○ ステンレス鋼製目地	○ 600角																	
形式	材種	寸法	形式	備考																																	
天井	○ アルミニウム製	○ 450角 ・ 600角	○ 一般形	・ 継付き																																	
	・																																				
床	・ アルミニウム製目地	・ 450角																																			
	○ ステンレス鋼製目地	○ 600角																																			
⑤ 塗装改修工事	○ 1 材料	<p>ホルムアルデヒド放散量 ※ F☆☆☆☆ () [7.1.3]</p> <p>防火材料 ※ 壁内の壁、天井の塗装仕上げ材は防火材料とし、建築基準法に基づく基材同等の認定表示のあるものとする ・ 次の箇所を除き防火材料とする（箇所：)</p>																																			
	○ 2 下地調整	図示による																																			
	○ 3 錆止め塗料塗り	図示による																																			
	○ 4 塗装	図示による																																			
6 耐震改修工事 共通事項	1 (一般事項) 適用範囲	<p>工事内容 [8.1.1]</p> <ul style="list-style-type: none"> 現場打ち鉄筋コンクリート壁の増設工事 鉄骨プレースの設置工事 柱補強工事（溶接金網巻き工法又は溶接閉鎖フープ巻き工法） 柱補強工事（鋼板巻き工法又は帯板巻き付け工法） 柱補強工事（連続繊維補強工法） 耐震スリット新設工法 免震改修・制震改修工事 <p>工事種別 [8.1.1] [8.1.2]</p> <ul style="list-style-type: none"> 施工調査（施工計画調査、施工数量調査、調査のための破壊部分の補修） 撤去工事（設備機器配管及び仕上げの取り壊し、撤去（下地の一部又は全てを含む）、構造体のはつり） 鉄筋工事 あと施工アンカー工事 コンクリート工事 鉄骨工事 グラウト工事 連続繊維補強工事 スリット新設工事 免震改修・制震改修工事 																																			
	3 施工数量調査	<p>(1.2.2) (1.2.4) (1.3.1)</p> <p>施工数量調査 [1.2.2][1.2.4][1.3.1][1.5.2]</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>項目</th> <th>内容</th> <th>記録事項等</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>・ 図示による</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	項目	内容	記録事項等	・ 図示による																															
	項目	内容	記録事項等																																		
	・ 図示による																																				
4 各工事	各工事については、別紙による。																																				
5 圧縮強度試験	<p>公的機関でコンクリートの材齢28日圧縮強度試験を行う建築物・その部位等</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>建築物名</th> <th>部位</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>※ 躯体</td> <td>・ ()</td> </tr> </tbody> </table>	建築物名	部位	※ 躯体	・ ()																																
建築物名	部位																																				
※ 躯体	・ ()																																				
6 コンクリート貫通（はつり・穿孔）	<p>(1) 貫通、はつり又は穿孔する箇所は、事前に金属探知機による鉄筋・埋設物（電線類・配管類）の調査を行うこと。</p> <p>(2) 金属探知機による調査で判断できなかった場合は、X線内部探査（撮影）等による調査について監督員と協議すること。</p> <p>(3) 金属探知機及びX線内部探査（撮影）等による調査が困難な場合は、休日等に関係設備を停止し不測の事態を想定した上での施工など、対応方法について監督員と協議の上、施設管理者に報告すること。</p>																																				

⑧ その他

○ 1 揮発性有機化合物の室内濃度の測定
1)対象揮発性有機化合物 (VOC)
2)測定室
3)測定方法

下記の室の揮発性有機化合物の室内濃度を測定し、厚生労働省が定める指針値以下であることを確認し、監督員に報告する。

○ ホルムアルデヒド ・ アセトアルデヒド
○ トルエン ○ キシレン ・ パラジクロロベンゼン ○ スチレン ○ エチルベンゼン
・ ()

○ (校長室、事務室、倉庫、書庫・倉庫(1)、カウセリング室、保健室、面談室、CR、ITネットワーク室、生徒会室、倉庫(生徒会)、購買前室、購買室、司書室、図書室、大会館室)

※ 簡易測定法による。

VOCの種類	測定方法
※ホルムアルデヒド	・検知紙法 ・検知管法 ・定電位電解法 ・吸光光度法 ○ハット型採取
※トルエン※キシレン※スチレン※エチルベンゼン	○ハット型採取

・厚生労働省の標準的測定方法による。

VOCの種類	採取方法	測定方法
・ホルムアルデヒド	・DNPH誘導体化固相吸着/溶媒抽出	・高速液体クロマトグラフ法
・アセトアルデヒド	・固相吸着/溶媒抽出法	・()
・トルエン	・固相吸着/溶媒抽出法	・()
・キシレン	・固相吸着/加熱脱着法	・()
・パラジクロロベンゼン	・容器採取法	・()
・スチレン		
・エチルベンゼン		

2 県産材・地域材の活用
1)木工事
2)木造工事
3)石工事
4)その他 ()工事

県産材を使用部位及び樹種については下記による。(代用樹種は使用できない)
使用部位 () 樹種 ()
地域材を使用する部位及び樹種については下記による。
使用部位 () 樹種 ()

県産材を使用部位及び樹種については下記による。(代用樹種は使用できない)
使用部位 () 樹種 ()
地域材を使用する部位及び樹種については下記による。
使用部位 () 樹種 ()

県産材を使用部位及び石材については下記による。(代用石材は使用できない)
使用部位 () 石材 ()
地域材を使用する部位及び石材については下記による。
使用部位 () 石材 ()

県産材を使用部位及び材については下記による。(代用材は使用できない)
使用部位 () 材 ()
地域材を使用する部位及び材については下記による。
使用部位 () 材 ()

⑨ 東日本大震災の復興・復興事業における積算方法等

○ 1 資材調達
○ 2 労働者確保

次の資材については、以下の調達地域等から調達することを想定しているが、安定的な確保を図るために、当該調達地域等以外から調達せざるを得ない場合は、事前に監督員と協議するものとする。また、購入費用及び輸送費等に要した費用について、証明書類(実際の取引伝票等)を監督員に提出するものとし、その費用について設計変更の対象とする。

資材名	規格	調達地域等

(1) 本工事は元請業者が必要とする共通費における、「共通仮設費のうち仮設建物費」及び「現場管理費のうち労働管理費」の下記に示す費用(以下「実績変更対象間接費」という。)について、契約締結後、労働者確保に要する方針に変更が生じ、建築関係工事積算基準(福島県土木部)に基づく金額相当では適正な工事の実施が困難になった場合は、事前に監督員と協議を行い、協議の結果により実績変更対象間接費の支出実績を踏まえて最終積算変更時点で設計変更する「労働者確保に関する積算方法の執行工事」である。

労務管理費(共通仮設費における仮設建物費)・労働者送迎費・宿泊費・借上費
労務管理費:募集及び解散に要する費用・賞金以外の食事・運動費等に要する費用・福利厚生等に要する費用・純工事費に含まれない作業用具及び作業被服等の費用・安全、衛生に要する費用及び研修訓練等に要する費用・労災保険法による給付以外に災害時に事業主が負担する費用

(2) 本工事の予定価格の算出の基礎とした設計額(建築関係工事積算基準に基づき算出した額)における実績変更対象間接費について、その金額または率に占める割合は次のとおりである。
1) 共通仮設費に占める、実績変更対象間接費(労務管理費):設計書に積上げ計上された金額
2) 現場管理費に占める、実績変更対象間接費(労務管理費)の割合: 2.37 %

(3) 受注者は、実績変更対象間接費の支出実績を踏まえて設計変更を希望する場合は、実績変更対象間接費に係る費用の内訳を記載した「労働者確保に係る実績報告書(様式1)」及び実績変更対象間接費について実際に支払った全ての証明書類(領収書、領収書のないものは金額の適切性を証明する金額計算書など)を監督員に提出し、設計変更の内容について協議するものとする。

(4) 受注者の責めによる工事工程の遅れ等受注者の責めに帰すべき事由による増加費用については、設計変更の対象としない。

(5) 発注者は、実績変更対象間接費の支出実績を踏まえて設計変更する場合、受注者が実績変更対象工事費について実際に支払った額のうち、証明書類において確認された費用から、建築関係工事積算基準に基づき算出した額における実績変更対象間接費を差し引いた費用を加算して算出する。
なお、全ての証明書類の提出がない場合であっても、提出された証明書類をもって設計変更を行うものとする。

(6) 受注者から提出された資料に虚偽の申告があった場合には、法的措置及び入札参加資格制限等の措置を行う場合がある。

(7) 受注者は、実績変更対象間接費にかかる設計変更について疑義が生じた場合は、監督員と協議するものとする。

⑩ 施工条件

○ 1 工程関係
○ 2 施工時期
○ 3 施工順序
○ 4 利用平行改修
○ 5 他機関との協議
○ 6 工事用地
○ 7 公害対策
○ 8 安全対策
○ 9 その他
○ 10 ワンデイレスポンス
○ 11 ダンプトラック等による過積載の防止

・調整無し
○別途工事との工程調整が必要有り
調整項目 ・資材等の洗用 ・仮設及び工事用道路等の調整 ・建設機械等の調整
○施工順序の調整 ・図示による ・その他 ()

・制限無し
○制限有り
○制限する工程名 ()
○施工時期 (・土日祝のみ ・図示による ○その他 (施設管理者との協議による))
○施工時間 (・夜間のみ ・時～時まで ○施設管理者との協議による)
・施工方法 ()

・有 (・年 月 日 ・別紙のとおり)
・無
・有 (・ : ~ : ・別紙のとおり)
・無

※ 施工順序の指定無し
・施工順序の指定有り
※ 図示による
・ () → () → () → ()

※ 利用平行改修による制限無し
・利用平行改修による制限有り
※ 対象エリア等は図示による

協議が必要な機関名 ()
協議完了見込み時期 ()

・下記以外は図示等による。
(1) 工事車両の駐車場 (※構内 ・ ())
(2) 資材置き場 (※構内 ・ ())
(3) 建設発生土(埋戻し、盛り土用)の仮置場所 (※構内 ・ ())

・仮設ヤード ※無し ・有り (※図示による ・ ())

※ 施工方法の制限無し
・施工方法の制限有り
・騒音 ・振動 ・水質 ・粉じん ・排出ガス ・その他 ()
・施工方法等
・指定工法名 () ・別途協議による ・図示による

・事業損失防止に関する調査
・騒音測定 ・振動測定 ・水質調査 ・近隣家屋の事前・事後調査 ・地盤沈下測定
・その他 ()

・調査箇所
・図示による ・別途協議

・調査時期
・図示による ・別途協議

・近接公共施設等に対する制限
・近接公共施設名等 (・鉄道 ・電気 ・ガス ・水道 ・電話 ・その他 ())
・制限を受ける工程 ()

※ 敷地内は禁煙とし、喫煙場所は別途協議による。
※ 当該工事現場を使用した技術研修会等の開催に関する依頼を受けた場合はこれに協力するものとする。

※ この工事はワンデイレスポンス対策工事であり、発注者及び受注者はワンデイレスポンスの主旨を十分踏まえて、その円滑な実施に努めるものとする。
受注者は施工計画書の提出にあたって、作業間の関係把握や工事の進捗状況を把握できる工程管理方法など、ワンデイレスポンスをより円滑に実施するための取り組みについて、監督員と協議を行うこと。
受注者は工事施工中において、問題等が発生した場合及び計画工程を実施工程と比較照し、差異が生じた場合は速やかに文書にて監督員に報告すること。(福島県工事請負契約第11条「履行報告」にだけでなく、必要な場合には速やかに報告する)
取り組みの効果・課題等を把握するため、工事中及び工事完成後に、ワンデイレスポンスの実施状況、アンケート、意見交換などのフォローアップ調査を実施する場合があるため、協力すること。


「ワンデイレスポンス」とは
受注者からの質問、協議への回答は、基本的に「その日のうち」に回答するよう対応する。ただし、即日回答が困難な場合は、いつまでに回答が必要なのかを受注者と協議の上、回答期限を設けるなど、先の見通しが分かるよう、何らかの回答を「その日のうち」にすることである。

① 過積載防止のための実施方法を施工計画書に具体的に記載するとともに、その管理と実施内容を記録すること。
② 工事車両には、工事箇所や受注者等が特定できるよう、車両の前後面に表示板を設置するものとする。
なお、前面の設置位置については、運転手の視界を妨げない位置とする。
③ 現場内での黄色回転灯の設置

表示板(後) 表示板(前)

工事箇所	工事名	会社名	会社名
会社名		車両管理No.	
車両管理No.			

寸法(前) : 20cm×40cm程度
寸法(後) : 30cm×90cm程度
色 : 白地に朱色文字等視認しやすい色とする。
材質 : マグネット等
※ 詳細な寸法、材質、色調については監督員と協議の上決定するものとする。



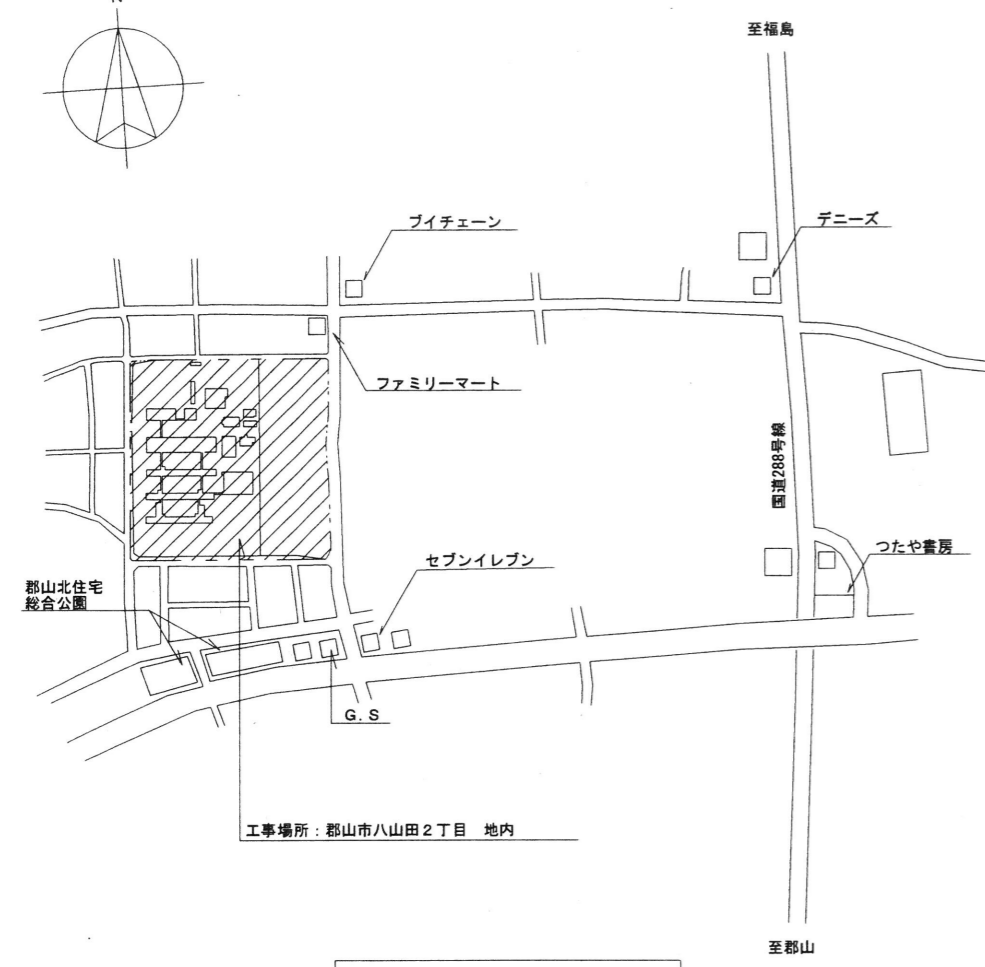
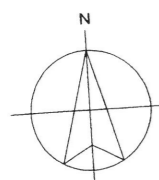
10 施工条件

別表-1の記入上の注意: ※を基本とし、他の発注工種が適用する場合には・を○に変え、※を・に変えること。
また、空欄を適用する場合には○を記入し、※を・に変えること。

別表-1 設備工事の工事区分表

機器の基礎	電気関係	機械関係	工事内容				
			建築工事	電気設備工事	機械設備工事	その他	
機器の基礎	配電盤・制御盤の基礎 自家発電機の基礎(アンカーボルトを除く) テレビアンテナ基礎() 測雷計の基礎()	屋内	※				
		屋外	※				
		屋上	※				
	架台、アンカーボルト 特記した基礎	屋内設備(架台、アンカーボルトを除く)	※				
		屋上設備()	※				
		屋外設備()	※				
	開口部	補強を要するもの 貫通スリーブ 貫通型型枠	補強を要しないもの	※			
			補強を要するもの	※			
			補強を要しないもの	※			
		軽重軟弱下地、壁、天井ボード類の切込 埋込形配電盤、端子盤等の型枠	補強を要するもの(アクリルボックスを除く)	※			
補強を要しないもの			※				
補強を要するもの			※				
上記開口部の補強 上記開口部の墨出し スリーブの穴埋め(型枠の穴埋めを含む) フリーアクセスフロア用配線器具		※					
		※					
		※					
電気配線		床、壁、天井 外部取付ガリ 湯沸室のフード 換気扇の取付枠	ダクト、チャンパーの接続用フランジを含む	※			
			※				
			※				
	流し台 防油堤 床下水槽のマンホールふた	排水トラップ共 オイルサーピスタングの防油堤 クランク基礎	※				
		自家専用	※				
		空調用	※				
	屋外排水管 雨水立管(たてどい) トイレ手すり	雨水 汚水、雑排水	※				
			※				
			※				
	化粧鏡(衛生器具まわり) はみ込形洗面器用カウンター(前板共) ガスボンベ転倒防止用の鎖		※				
		※					
		※					
ガス漏れ検知器	自動ドア及び電動シャッターなどの制御部と 操作スイッチ間の配線配線及び操作スイッチ 防火扉レリーズ 電線種 配線ピット及びふた 機器などへの接続(1次側)	※					
		※					
		※					
	機器行真の制御盤以降の2次側の配線配管(接地共) 機器行真の制御盤への電源供給配線配管 自動制御盤と動力盤との電源供給の渡り配線配管 自動制御盤と動力盤との制御回路の渡り配線配管	※					
		※					
		※					
	天井吊り形FCU、個別パッケージ、全熱交換ユニット等の機器 と付属操作スイッチの埋込ボックスと、その渡り配管(接地共) 天井吊り形FCU、個別パッケージ、全熱交換ユニット等の機器 と付属操作スイッチと、その渡り配管	※					
		※					
		※					
	個別パッケージの室内機、室外機の渡り配管(接地共) 煙感知器から運動制御盤を経て防煙ダンプに至る配線配管 小使器具用排水装置の制御盤以降の2次側の配線配管	※					
※							
※							
システム天井	ボード・Tバー 照明ライン設備プレート 空調ライン設備プレート	※					
		※					
		※					
	消火器ボックス 自動制御設備関連のインバーター装置及び盤 自動制御設備関連のインバーター装置(別途、盤に組込む)	※					
		※					
		※					

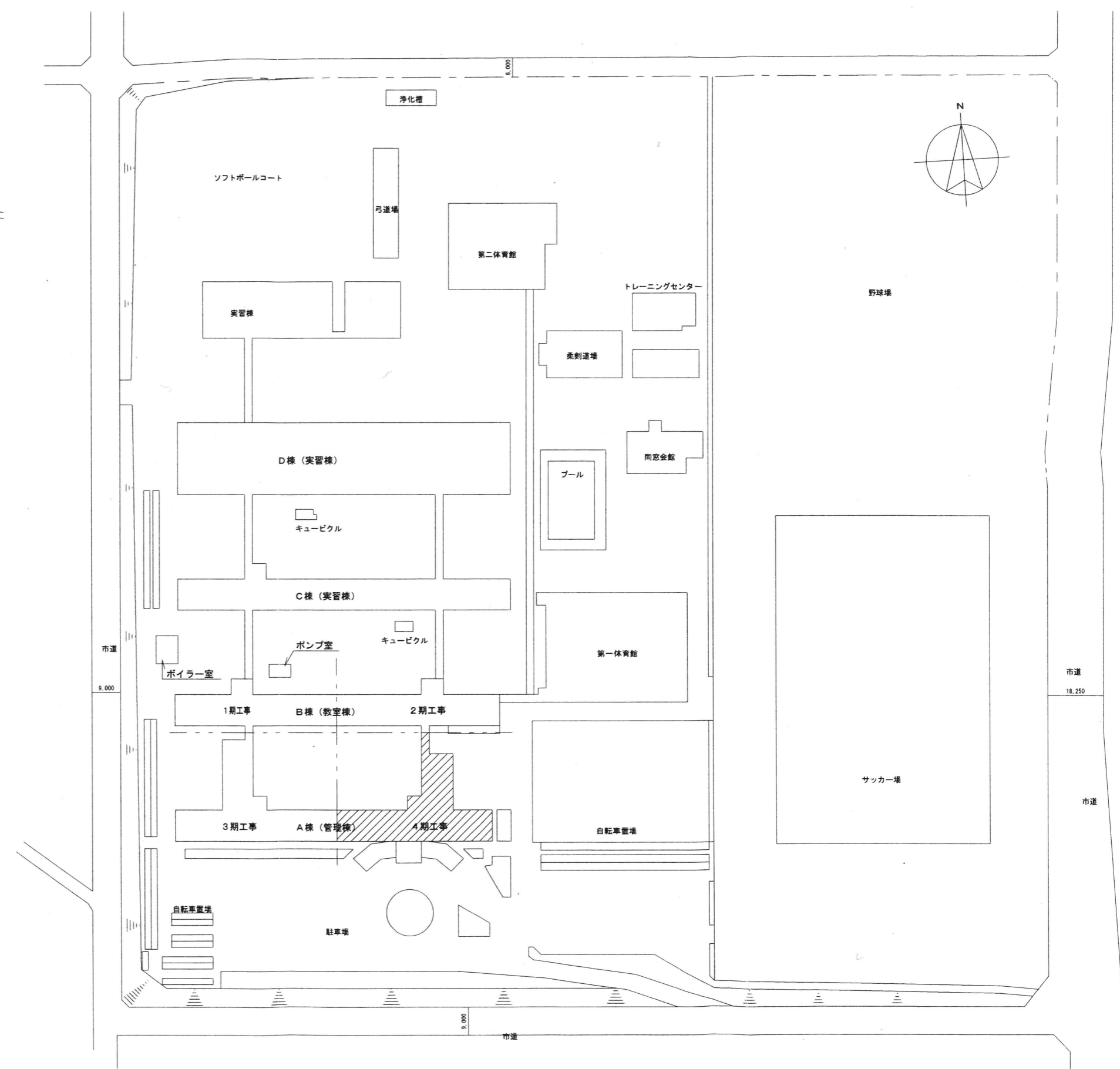
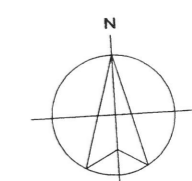
11	現場環境改善(快適トイレの設置)	<p>① 受注者は、現場環境改善の一環として、工事場所毎に設置するトイレのうち男女別1基ずつ以下の(1)~(11)の仕様をすべて満たす快適トイレを設置することとする。ただし、快適トイレの設置が困難な場合は監督員と協議する。(12)~(17)の仕様については、満たしていればより快適に出来ると思われる項目であり、必須ではない。</p> <p>【快適トイレを求める標準仕様(全項目必須)】</p> <p>(1) 洋式便座 (2) 水洗機能(簡易水洗、し尿処理装置付き含む) (3) 臭い逆流防止機能(フリップ機能) (必要に応じて消臭剤等活用し臭い対策を取る) (4) 容易に開かない施錠機能(二重ロック等) (二重ロックの備えがなくても容易に開かないことを製造者が説明できるもの) (5) 照明設備(電源がなくても良いもの) (6) 衣類掛け等のフック付、又は、荷物置き場設備機能(耐荷重5kg以上)</p> <p>【快適トイレとして活用するために備える付属品(全項目必須)】</p> <p>(7) 現場に男女がいる場合に男女別の明確な表示 (8) 入口の目隠しの設置(男女別トイレ間も含め入口が直接見えないような配置等) (9) サニタリーボックス(女性専用トイレに必ず設置) (10) 鏡付きの洗面台 (11) 便座除菌クリーナー等の衛生用品</p> <p>【推奨する仕様、付属品(任意)】</p> <p>(12) 室内寸法900mm×900mm以上(面積A=0.81m²以上ではない、幅・奥行き各900mm以上) (13) 振音装置(機能を含む) (14) 着替え台 (15) 臭気対策機能の多重化 (16) 窓などの室内温度の調整が可能な設備 (17) 小物置き場等(トイレットペーパー予備置き場等)</p> <p>② 受注者は、快適トイレの設置にあたっては、①の内容を満たす参考見積書(標準仕様、付属品の内訳を明示したもの)を添付し、規格・基数等の詳細について監督員と協議の上決定し、快適トイレ仕様チェックシート及び資料等(カタログなど)を施工計画書提出に合わせ提出する。</p> <p>③ 現場事務所等の屋内に設けるトイレには適用しない。</p> <p>快適トイレに要する費用については、当初契約時は計上していない。 月額の実支出実態がわかる資料により、監督員と協議の上、51,000円/基・月を上限とし、設計変更の対象とする。 ただし、運搬費・設置費等は対象外とし、従来品相当額(10,000円/基・月)は差し引くものとする。 なお、設計変更数量の上限は、男女別で各1基ずつ合計2基までとする。</p>	14	<p>・ 1 準備期間確保工事</p> <p>・ 2 フレックス工事</p> <p>・ 3 着工届の提出</p> <p>・ 4 コリンズの登録</p> <p>・ 5 福島県元請・下請関係適正化指導要綱関係</p> <p>・ 6 その他</p>	<p>準備期間確保工事における事務処理要領 この工事は準備期間確保工事であり、受注者は契約締結日から準備期間(〇〇日間)内に着工日を任意に設定できる。なお、契約の締結日までに別紙様式により、着工日(工事の始期)を通知すること。また、契約締結後に、受注者の準備が整った場合は、協議のうえ、工期に係る契約を変更することにより、工事に着手することができるものとする。</p> <p>フレックス工事執行要領 この工事はフレックス工事であり、受注者は発注者が示した工期までの間で、工事の始期及び終期を任意に設定できる。なお、契約の締結日までに別紙様式により、工事の始期及び終期を通知すること。</p> <p>着工届は、着工後速やかに提出すること。</p> <p>受注時の「コリンズ登録」は、着工後に監督員の確認を受け、着工後、速やかに登録機関に登録申請しなければならない。</p> <p>施工体制台帳については、福島県元請・下請関係適正化指導要綱第10に基づき、提出すること。</p> <p>・ 準備期間内は、主任技術者又は監理技術者の配置することを要しない。また、現場に搬入しない資材等の準備を行うことができるが、資材の搬入や仮設物の設置等、工事の着手を行ってはならない。なお、準備期間内に行う準備は受注者の責任により行うものとする。(準備期間確保工事)</p> <p>・ 工事の始期までの着工猶予期間は、主任技術者又は監理技術者の配置することを要しない。また、現場に搬入しない資材等の準備を行うことができるが、資材の搬入や仮設物の設置等、工事の着手を行ってはならない。なお、着工猶予期間中に行う準備は受注者の責任により行うものとする。(フレックス工事)</p>
12	<p>○ 1 内容</p> <p>○ 2 施工計画書</p> <p>○ 3 協議</p> <p>○ 4 虚偽の申告</p>	<p>1 本工事は、新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止対策のため、下記対策に要した費用について、実績変更の対象とする。</p> <p>(1) 共通費 1) 労働者宿舎における密集を避けるための近隣宿泊施設の宿泊費・交通費 2) 現場事務所や労働者宿舎等の拡張費用・借地料 3) その他感染拡大防止のために必要と認められる対策に係る費用</p> <p>(2) 現場管理費 1) 現場従事者のマスク、インカム、シールドヘルメット等の購入・リース費用 2) 現場に配備する消毒液、赤外線体温計等の購入・リース費用 3) 遠隔臨場やテレビ会議等のための機器リース費・通信費 4) その他感染拡大防止のために必要と認められる対策に係る費用</p> <p>2 受注者は、上記1の対策を実施する場合は、施工計画書に記載すること。 また、上記1の対策に要した費用について、実績変更を希望する場合は、その旨を実績額の提出に先立ち、工事打合せ簿により監督員と協議すること。</p> <p>3 受注者は、上記1の対策に要した費用について「新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止対策費用実績報告書(様式-1)」及び実際に支払った全ての証明書類(領収書(原本)、領収書の出ないものは金額の適切性を証明する金額計算書など)を監督員に提出し、設計変更の内容について協議するものとする。</p> <p>なお、様式1の記載にあたっては以下の事項に留意すること。 (1) 現場事務所の拡張費用・借地料については、平時における現場事務所設置費用との差額を記載するものとし、平時における現場事務所設置に要する費用の見積書を添付すること。 (2) 労働者宿舎の拡張費用・借地料について「東日本大震災の復旧・復興事業等における労働者宿舎設置に関する執行要領」に基づき労働者宿舎を設置している場合は、拡張に係る費用のみを計上するものとする。労働者宿舎の設置を予定している場合は、感染拡大防止対策を考慮した宿舎設置費用について執行要領に基づき間接費の変更を行うものとし、感染拡大防止対策に係る費用としての計上は行わない。</p> <p>4 受注者から提出された資料に虚偽の申告があった場合については、法的措置及び入札参加資格制限等の措置を行う場合がある。</p>			
13	<p>○ 1 内容</p> <p>○ 2 基準</p>	<p>※ 本工事は、新型コロナウイルス感染症の影響下であることを踏まえ、資金の押し下げをできる限り取り除くために市場単価及び補正市場単価の補正をする。</p> <p>※ 令和4年度の公共工事設計労務単価における特別措置を踏まえた建築関係工事に適用する市場単価の運用について</p>			



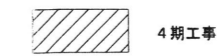
工事場所：郡山市八山田2丁目 地内

案内図 NO. Scale

○建築改修工事概要
 間仕切り更新、トイレブスの更新、内装仕上の更新、壁・鋼製建具塗装改修
 クラック補修、外壁塗装改修、玄関スロープの設置、他



配置図 S=1:1000



MEMO	株式会社 清水公夫研究所	特記	工事名 郡山北工業高校大規模改修工事(建築・4期)	図面名 案内図、配置図	図面番号 A-7	平成29年度
	一級建築士事務所 福島県知事登録 第No12(512)0201号 一級建築士 建設大臣登録 第53563号 清水公夫 福島県郡山市菜穂3丁目12番8号 TEL. 024-922-9334 FAX 024-922-9822			縮尺 S=1:1000	区分	

改修前
改修後

外部仕上表						
	基礎・巾木	外壁	屋根	軒天	その他	
改修前	(巾木)モルタル刷毛引 (大走)コンクリート直金ゴテ仕上 エクステンション目地(アスベスト目地t=20) 一部モルタル仕上目地切(暖房ヒット上)	(外壁)モルタル刷毛引 合成樹脂リシン吹付 塗替え	(屋根)シート防水 (笠木)7mm既製品W250	(軒天)モルタル刷毛引 合成樹脂リシン吹付 塗替え	(7mmサッシ)昇降口出入口部 撤去 (側溝)コンクリート打放 エクステンション目地 底部モルタル仕上 水勾配付	(ペランダ) 床面)モルタル防水仕上 立上)モルタル防水刷毛引仕上 PC笠木 手すり鋼製 (昇降口底) 床面)シート防水 笠木)7mm既製品W180 カラー
改修後	既存のまま	(外壁)既存塗膜除去 サンダー工法 高圧洗浄 防水型複層塗材E	(屋根) 既存シート材再利用の上 合成高分子シート防水t=2.0増貼 絶縁工法 立上部) 既存シート材撤去の上 合成高分子シート防水t=2.0貼 密着工法 7mm既製品防水押え金物納め (笠木)7mm既製品W250 取外し再取付	(軒天)既存塗膜除去 サンダー工法 高圧洗浄 防水型複層塗材E (一部)コンクリート欠損部及び鉄筋爆裂部補修	(7mmサッシ)昇降口出入口部 新設 周囲部シーリング MS-2 10~15 新設 (側溝)既存のまま	(ペランダ)既存のまま (昇降口底) 平部) 既存シート材再利用の上 合成高分子シート防水t=2.0増貼 絶縁工法 笠木) 7mm既製品W180 取外し再取付

内部仕上表											備考	
室名	床		巾木		壁		天井			備考		
	下地	仕上	仕上	H	下地	仕上	下地	仕上	CH			
両棟各階共通	現況	モルタル金ゴテ 既存のまま	ビニル床シート t=2撤去	ソト巾木 撤去	75	木製下地撤去 モルタル金ゴテ 既存のまま	ベニヤ合板貼t=5.5 撤去 E.P.2 撤去	軽量鉄骨天井下地 撤去	化粧石膏ボード t=9.5撤去	3050	掲示板、曲面黒板、小黒板、帽子掛フック、掃除用具入、スクリーン受木 撤去	
	改修後	セメント系下地調整材塗 新設	ビニル床シート t=2.5 新設	ソト巾木 新設	75	軽量鉄骨壁下地 新設 既存壁の上 下地調整(RB種)	石膏ボード t=12.5 E.P.2 新設 E.P.2 新設	軽量鉄骨天井下地 新設	化粧石膏ボード t=9.5 新設	3050	掲示板、曲面黒板、小黒板、帽子掛フック、掃除用具入 新設 廊下界壁スクリーン(天井裏界壁 強化PBt=12.5+12.5) 新設	
廊下	現況	モルタル金ゴテ 既存のまま	ビニル床シート t=2撤去	ソト巾木 撤去	75	モルタル仕上 既存のまま	E.P.2 撤去 ベニヤ合板貼t=5.5/プリント合板貼撤去	軽量鉄骨天井下地 撤去	化粧石膏ボード t=9.5撤去	2700	廊下流し 撤去	
	改修後	セメント系下地調整材塗 新設	ビニル床シート t=2.5 新設	ソト巾木 新設	75	既存壁の上 下地調整(RB種)	E.P.2 新設	軽量鉄骨天井下地 新設	化粧石膏ボード t=9.5 新設	2700	廊下流し、教室側界壁スクリーン(天井裏界壁 強化PBt=12.5+12.5) 新設	
男子便所 女子便所	現況	—	モルタル撤去	モルタル仕上 撤去	75	モルタル仕上 既存のまま	吹付タイル 撤去	軽量鉄骨天井下地 撤去	ケアル板t=6 撤去	2500	トイレノズ 撤去	
	改修後	鋼製床一部(モルタル金ゴテ)	ビニル床シート t=2.5 新設	ソト巾木 新設	75	既存のまま	耐水石膏ボード t=12.5下地 抗菌珪藻土化粧板 t=3 新設	軽量鉄骨天井下地 新設	化粧石膏ボード t=9.5 新設 塩ビ製廻縁 共	2500	トイレノズ 新設	
多目的便所 前室	現況	モルタル金ゴテ 既存のまま	ビニル床シート t=2.5 撤去	ソト巾木 撤去	75	モルタル仕上 既存のまま	吹付タイル 撤去	軽量鉄骨天井下地 撤去	ケアル板t=6 撤去	2500		
	改修後	鋼製床	ビニル床シート t=2.5 新設	ソト巾木 新設	75	軽量鉄骨壁下地 新設	耐水石膏ボード t=12.5下地 抗菌珪藻土化粧板 t=3 新設	軽量鉄骨天井下地 新設	化粧石膏ボード t=9.5 新設 塩ビ製廻縁 共	2500		
前室 (多目的便所)	現況	モルタル金ゴテ 既存のまま	ビニル床シート t=2.5 撤去	ソト巾木 撤去	75	モルタル仕上 既存のまま	吹付タイル 撤去	軽量鉄骨天井下地 撤去	ケアル板t=6 撤去	2500		
	改修後	鋼製床	ビニル床シート t=2.5 新設	ソト巾木 新設	75	軽量鉄骨壁下地 新設	耐水石膏ボード t=12.5下地 抗菌珪藻土化粧板 t=3 新設	軽量鉄骨天井下地 新設	化粧石膏ボード t=9.5 新設 塩ビ製廻縁 共	2500		
倉庫 (階段下)	現況	モルタル金ゴテ 既存のまま	ビニル床シート t=2.5 撤去	ソト巾木 撤去	75	モルタル仕上 既存のまま	吹付タイル 撤去	コンクリート打放シ	E.P.2 撤去			
	改修後	セメント系下地調整材塗 新設	ビニル床シート t=2.5 新設	ソト巾木 新設	75	既存壁の上 下地調整(RB種)	E.P.2 新設	下地調整(RB種)	E.P.2 新設			
階段室	現況	モルタル金ゴテ 既存のまま	ビニル床シート t=2.5 撤去	ソト巾木 撤去	75	モルタル仕上 既存のまま	吹付タイル 撤去	コンクリート打放シ (3階)軽量鉄骨天井下地 撤去	E.P.2 撤去 (3階)化粧石膏ボード t=9.5 撤去		手すり 撤去	
	改修後	セメント系下地調整材塗 新設	ビニル床シート t=2.5 新設	ソト巾木 新設	75	既存壁の上 下地調整(RB種)	E.P.2 新設	下地調整(RB種) (3階)軽量鉄骨天井下地 新設	E.P.2 新設 (3階)化粧石膏ボード t=9.5 新設		手すり 新設	
A棟 1階	生徒昇降口 (東)(西) 面談室	現況	—	モルタル塗キリット仕上 撤去 ビニル床シート t=2.0 撤去	モルタル仕上	75	モルタル仕上	AEP	軽量鉄骨天井下地 撤去	化粧石膏ボード t=9.5撤去	2700	掲示板撤去、掃除用具入撤去
		改修後	モルタル金ゴテ 既存のまま	150角磁器タイル 新設 ビニル床シート t=2.5 新設	150角磁器タイル 新設 木製巾木 O.P.3 新設	150 75	木脚縁下地	珪藻土合板 t=12 杉板貼り t=12(上小筋) W.S.	軽量鉄骨天井下地 新設	化粧石膏ボード t=9.5 新設 塩ビ製廻縁 共	2700	掲示板新設、掃除用具入新設
	玄関	現況	—	人造研出 撤去 ビニル床シート t=2.0 撤去	モルタル仕上	75	モルタル仕上	AEP	軽量鉄骨天井下地 撤去	化粧石膏ボード t=9.5撤去	2700	
		改修後	モルタル金ゴテ 既存のまま	150角磁器タイル 新設 ビニル床シート t=2.5 新設	150角磁器タイル 新設 木製巾木 O.P.3 新設	150 75	木脚縁下地	珪藻土合板 t=12 杉板貼り t=12(上小筋) W.S.	軽量鉄骨天井下地 新設	化粧石膏ボード t=9.5 新設 塩ビ製廻縁 共	2700	
事務室	現況	モルタル金ゴテ 既存のまま	ビニル床シート t=2.5 撤去	ソト巾木 撤去	75	木製下地撤去 モルタル金ゴテ 既存のまま	ベニヤ合板貼t=5.5 撤去 E.P.2 撤去	軽量鉄骨天井下地 撤去	化粧石膏ボード t=9.5撤去	2700	カンター、流し台L=1800、行事用黒板1800x900、掲示板1800x900、掃除用具入 撤去	
	改修後	セメント系下地調整材塗 新設	ビニル床シート t=2.5 新設	ソト巾木 新設	75	軽量鉄骨壁下地 新設 既存壁の上 下地調整(RB種)	石膏ボード t=12.5 E.P.2 新設 E.P.2 新設	軽量鉄骨天井下地 新設	化粧石膏ボード t=9.5 新設	2700	カンター、流し台L=1800、行事用黒板1800x900、掲示板1800x900、掃除用具入 新設 廊下側界壁スクリーン(天井裏界壁) 新設	

※仮間仕切り壁：B種 出入り口 鍵付き
(軽量鉄骨壁下地 W65 片面石こうボード A9.5 貼)

※仮間仕切り壁：B種 出入り口 鍵付き
(軽量鉄骨壁下地 W65 片面石こうボード ア9.5 貼)

内部仕上表												備考	
棟	階	室名	床		巾木		壁		天井		CH		
			下地	仕上	仕上	H	下地	仕上	下地	仕上			
A棟	1階	校長室	現況	珞外金ゴテ 既存のまま	ビニール床シート t=2.5 撤去	ソフト巾木 撤去	75	珞外金ゴテ 既存のまま 木製下地撤去	クロス貼撤去 ベニヤ合板貼 t=5.5/クロス貼撤去	軽量鉄骨天井下地 撤去	化粧石膏ボード t=9.5撤去	2700	飾り棚、行事用黒板1800x900、手洗い、掃除用具入 撤去
			改修後	珞外系下地調整材塗 新設	ビニール床シート t=2.5 新設	ソフト巾木 新設	75	珞外金ゴテ 既存のまま 軽量鉄骨壁下地 新設	石膏ボード t=12.5/クロス貼 石膏ボード t=12.5/クロス貼	軽量鉄骨天井下地 新設	化粧石膏ボード t=9.5 新設	2700	飾り棚、行事用黒板1800x900、手洗い、掃除用具入、廊下側界壁スクリーン 新設
		職員室	現況	珞外金ゴテ 既存のまま	ビニール床シート t=2撤去	ソフト巾木 撤去	75	珞外金ゴテ 既存のまま 木製下地撤去	E.P.2 撤去 ベニヤ合板貼t=5.5/ソフト合板貼撤去	軽量鉄骨天井下地 撤去	化粧石膏ボード t=9.5撤去	2700	黒板、掲示板、手洗い、掃除用具入 撤去
			改修後	珞外系下地調整材塗 新設	ビニール床シート t=2.5 新設	ソフト巾木 新設	75	既存壁の上 下地調整 (RB種) 軽量鉄骨壁下地 新設	E.P.2 新設 石膏ボード t=12.5 EP2 新設	軽量鉄骨天井下地 新設	化粧石膏ボード t=9.5 新設	2700	木製ボード、掲示板、流し台、掃除用具入、廊下側界壁スクリーン 新設
		資料室 ・書庫 資料室 男子更衣室	現況	珞外金ゴテ 既存のまま	ビニール床シート t=2撤去	ソフト巾木 撤去	75	珞外金ゴテ 既存のまま 木製下地撤去	E.P.2 撤去 ベニヤ合板貼t=5.5/ソフト合板貼撤去	軽量鉄骨天井下地 撤去	化粧石膏ボード t=9.5撤去	2700	手洗い、掃除用具入 撤去
			改修後	珞外系下地調整材塗 新設	ビニール床シート t=2.5 新設	ソフト巾木 新設	75	既存壁の上 下地調整 (RB種) 軽量鉄骨壁下地 新設	E.P.2 新設 石膏ボード t=12.5 EP2 新設	軽量鉄骨天井下地 新設	化粧石膏ボード t=9.5 新設	2700	手洗い、掃除用具入、廊下側界壁スクリーン 新設
		進路指導室	現況	珞外金ゴテ 既存のまま	ビニール床シート t=2撤去	ソフト巾木 撤去	75	珞外金ゴテ 既存のまま 木製下地撤去	E.P.2 撤去 ベニヤ合板貼t=5.5/ソフト合板貼撤去	軽量鉄骨天井下地 撤去	化粧石膏ボード t=9.5撤去	2700	流し台、掃除用具入 撤去
			改修後	珞外系下地調整材塗 新設	ビニール床シート t=2.5 新設	ソフト巾木 新設	75	既存壁の上 下地調整 (RB種) 軽量鉄骨壁下地 新設	E.P.2 新設 石膏ボード t=12.5 EP2 新設	軽量鉄骨天井下地 新設	化粧石膏ボード t=9.5 新設	2700	流し台、掃除用具入、廊下側界壁スクリーン 新設
		女子更衣室 (1)	現況	珞外金ゴテ 既存のまま	ビニール床シート t=2撤去	ソフト巾木 撤去	75	珞外金ゴテ 既存のまま 木製下地撤去	E.P.2 撤去 ベニヤ合板貼t=5.5/ソフト合板貼撤去	軽量鉄骨天井下地 撤去	化粧石膏ボード t=9.5撤去	2700	手洗い、掃除用具入 撤去
			改修後	珞外系下地調整材塗 新設	ビニール床シート t=2.5 新設	ソフト巾木 新設	75	既存壁の上 下地調整 (RB種) 軽量鉄骨壁下地 新設	E.P.2 新設 石膏ボード t=12.5 EP2 新設	軽量鉄骨天井下地 新設	化粧石膏ボード t=9.5 新設	2700	手洗い、掃除用具入 新設
		放送室	現況	珞外金ゴテ 既存のまま	カーペット敷 t=5撤去	木製 O.P.3撤去	75	珞外金ゴテ 既存のまま 木製下地撤去	有孔ベニヤ t=15.5 クロス貼撤去 グラスウール t50撤去	軽量鉄骨天井下地 撤去	石膏ボード t=9.5+9.5 クロス貼撤去	2400	
			改修後		タイルカーペット敷 新設	木製 O.P.3 新設	75	LGS下地グラスウール 750	有効P.B t=12.5 E.P.2 新設	軽量鉄骨天井下地 新設	石膏ボード t=9.5 ロックウール吸音板 t=9.5 塩ビ製廻縁	2400	
		保健室	現況	珞外金ゴテ 既存のまま	ビニール床シート t=2.5 撤去	ソフト巾木 撤去	75	木製下地撤去 珞外金ゴテ 既存のまま	ベニヤ合板貼t=5.5 撤去 E.P.2 撤去	軽量鉄骨天井下地 撤去	化粧石膏ボード t=9.5撤去	2700	手洗い 流し台L=1800 カテンレール 掃除用具入 撤去
			改修後	珞外系下地調整材塗 新設	ビニール床シート t=2.5 新設	木製巾木 新設	75	木脚縁下地	ソフト合板 t=12 杉板貼り t=12(上小節) W.S.	軽量鉄骨天井下地 新設	化粧石膏ボード t=9.5 新設	2700	手洗い 流し台L=2000 カテンレール 掃除用具入 新設
		カウンセリング室	現況	珞外金ゴテ 既存のまま	ビニール床シート t=2撤去	ソフト巾木 撤去	75	珞外金ゴテ 既存のまま 木製下地撤去	E.P.2 撤去 ベニヤ合板貼t=5.5/ソフト合板貼撤去	軽量鉄骨天井下地 撤去	化粧石膏ボード t=9.5撤去	2700	手洗い、黒板1200x900、掃除用具入 撤去
			改修後	珞外系下地調整材塗 新設	ビニール床シート t=2.5 新設	ソフト巾木 新設	75	既存壁の上 下地調整 (RB種) 軽量鉄骨壁下地 新設	E.P.2 新設 石膏ボード t=12.5 EP2 新設	軽量鉄骨天井下地 新設	化粧石膏ボード t=9.5 新設	2700	手洗い、黒板1200x900、掃除用具入 新設
		警備員室(1) 倉庫(1)	現況	珞外金ゴテ 既存のまま	ビニール床シート t=2撤去	ソフト巾木 撤去	75	珞外金ゴテ 既存のまま 木製下地撤去	E.P.2 撤去 ベニヤ合板貼t=5.5/ソフト合板貼撤去	軽量鉄骨天井下地 撤去	化粧石膏ボード t=9.5撤去	2700	
			改修後	珞外系下地調整材塗 新設	ビニール床シート t=2.5 新設	ソフト巾木 新設	75	既存壁の上 下地調整 (RB種) 軽量鉄骨壁下地 新設	E.P.2 新設 石膏ボード t=12.5 EP2 新設	軽量鉄骨天井下地 新設	化粧石膏ボード t=9.5 新設	2700	
		警備員室(2) 書庫	現況	木床組	タミ一部フローリング t=12撤去	ソフト巾木 撤去	75	珞外金ゴテ 既存のまま 木製下地撤去	クロス張 撤去 石膏ボード t=9.5下地クロス貼撤去	軽量鉄骨天井下地 撤去	化粧石膏ボード t=9.5撤去	2400	押入、物入 撤去
			改修後	珞外系下地調整材塗 新設	ビニール床シート t=2.5 新設	ソフト巾木 新設	75	既存壁の上 下地調整 (RB種) 軽量鉄骨壁下地 新設	E.P.2 新設 石膏ボード t=12.5 EP2 新設	軽量鉄骨天井下地 新設	化粧石膏ボード t=9.5 新設	2700	
		職員昇降口	現況	—	珞外塗カミクリト仕上 撤去 ビニール床シート t=2.0 撤去	珞外コテ仕上撤去	75	珞外コテ仕上 既存のまま	AEP 撤去	軽量鉄骨天井下地 撤去	化粧石膏ボード t=9.5撤去	2700	黒板1800x900 撤去
			改修後	珞外金ゴテ 既存のまま	150角磁器タイル 新設 ビニール床シート t=2.5 新設	150角磁器タイル 新設 ソフト巾木 新設	150 75	既存壁の上 下地調整 (RB種)	E.P.2 新設	軽量鉄骨天井下地 新設	化粧石膏ボード t=9.5 新設 塩ビ製廻縁 共	2700	黒板1800x900 新設
		男子職員便所	現況	—	モザイクタイル	珞外コテ仕上	75	珞外コテ仕上 既存のまま	吹付タイル 撤去	軽量鉄骨天井下地 撤去	ケイカル板t=6 撤去	2500	トイレノズ 撤去
			改修後	嵩上コンクリートの上 珞外金ゴテ	ビニール床シート t=2.5 新設	ソフト巾木 新設	75	軽量鉄骨壁下地 新設	耐水石膏ボード t=12.5下地 抗菌フミン化粧板 t=3 新設	軽量鉄骨天井下地 新設	化粧石膏ボード t=9.5 新設 塩ビ製廻縁 共	2500	トイレノズ 新設
		女子職員便所	現況	—	モザイクタイル	珞外コテ仕上	75	珞外コテ仕上 既存のまま	吹付タイル 撤去	軽量鉄骨天井下地 撤去	ケイカル板t=6 撤去	2500	トイレノズ 撤去
			改修後	嵩上コンクリートの上 珞外金ゴテ	ビニール床シート t=2.5 新設	ソフト巾木 新設	75	軽量鉄骨壁下地 新設	耐水石膏ボード t=12.5下地 抗菌フミン化粧板 t=3 新設	軽量鉄骨天井下地 新設	化粧石膏ボード t=9.5 新設 塩ビ製廻縁 共	2500	トイレノズ 新設

MEMO

株式会社 清水公夫研究所
一級建築士事務所 福島県知事登録 第No12(512)0201号
一級建築士 建設大臣登録 第53563号 清水公夫
福島県郡山市菜根3丁目12番8号 TEL 024-922-9334 FAX 024-922-9822

特記

工事名
郡山北工業高校大規模改修工事(建築・4期)

図面名

仕上表(2)

縮尺

S

図面番号

A-9

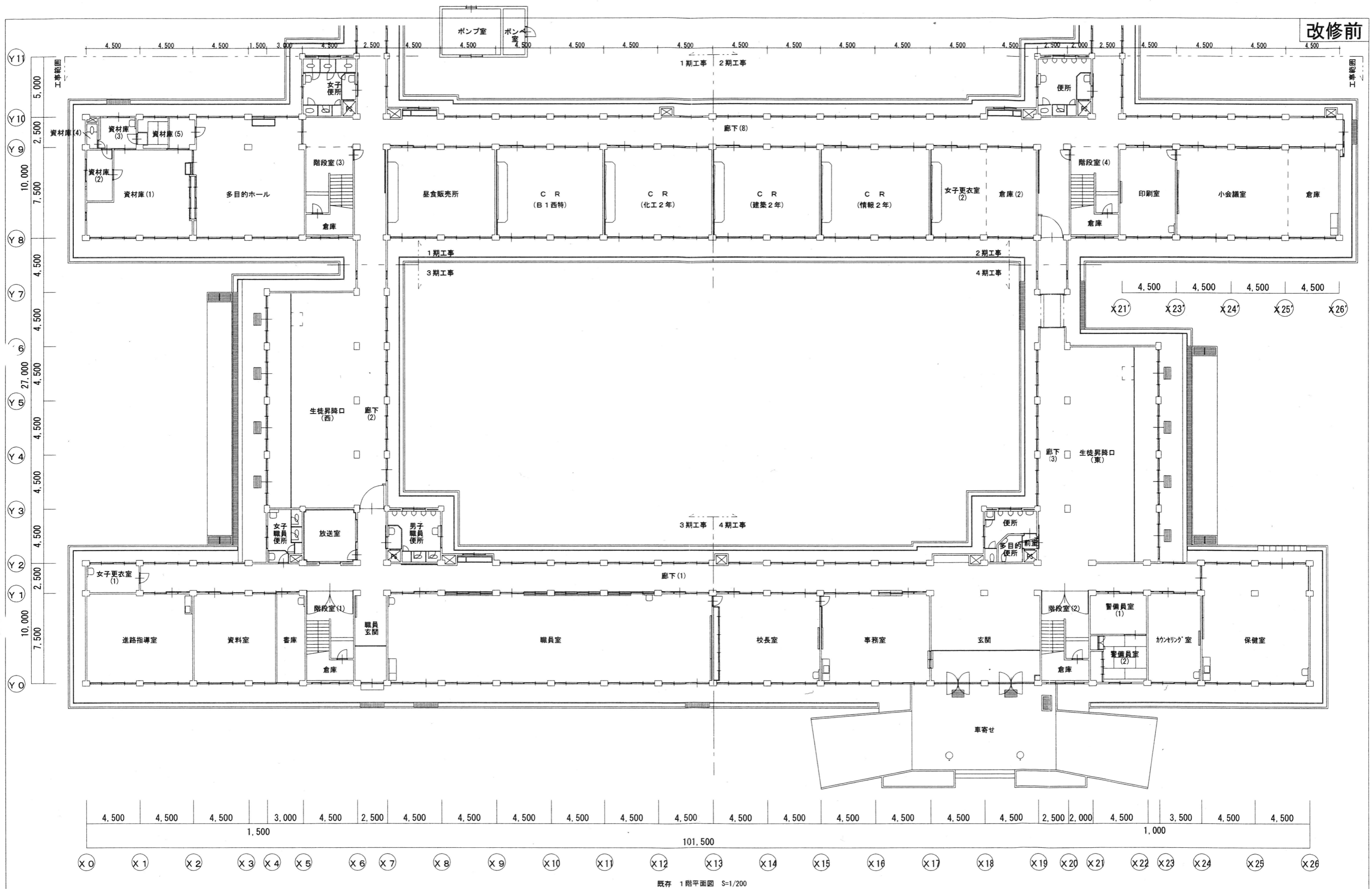
平成29年度

区分

※仮間仕切り壁：B種 出入り口 鍵付き
(軽量鉄骨壁下地 W65 片面石こうボード A9.5 貼)

内部仕上表												備考	
棟	階	室名	床		巾木		壁		天井			備考	
			下地	仕上	仕上	H	下地	仕上	下地	仕上	GH		
A棟	2階	教育相談室 ↓ 面談室	現況	モルタル金ゴテ 既存のまま	ビニル床シート t=2撤去	ソフト巾木 撤去	75	木製下地撤去 モルタル金ゴテ 既存のまま	ベニヤ合板貼 t=5.5 撤去 E.P.2 撤去	軽量鉄骨天井下地 撤去	化粧石膏ボード t=9.5 撤去	2700	掃除用具入 撤去
			改修後	セメント系下地調整材塗 新設	ビニル床シート t=2.5 新設	ソフト巾木 新設	75	軽量鉄骨壁下地 新設 既存壁の上 下地調整 (RB種)	石膏ボード t=12.5 E.P.2 新設 E.P.2 新設	軽量鉄骨天井下地 新設	化粧石膏ボード t=9.5 新設	2700	掃除用具入 新設
	PC室	現況	モルタル金ゴテ 既存のまま	ビニル床シート t=2撤去	ソフト巾木 撤去	75	木製下地撤去 モルタル金ゴテ 既存のまま	ベニヤ合板貼 t=5.5 撤去 E.P.2 撤去	軽量鉄骨天井下地 撤去	化粧石膏ボード t=9.5 撤去	3050	掲示板、曲面黑板、小黑板、帽子掛フック、掃除用具入、スクリーン受木 撤去	
		改修後	セメント系下地調整材塗 新設	ビニル床シート t=2.5 新設	ソフト巾木 新設	75	軽量鉄骨壁下地 新設 既存壁の上 下地調整 (RB種)	石膏ボード t=12.5 E.P.2 新設 E.P.2 新設	軽量鉄骨天井下地 新設	化粧石膏ボード t=9.5 新設	3050	掲示板、曲面巾木ボード、小黑板、帽子掛フック、掃除用具入 新設	
	ITネットワーク 管理室	現況	モルタル金ゴテ 既存のまま	ビニル床シート t=2撤去	ソフト巾木 撤去	75	木製下地撤去 モルタル金ゴテ 既存のまま	ベニヤ合板貼 t=5.5 撤去 E.P.2 撤去	軽量鉄骨天井下地 撤去	化粧石膏ボード t=9.5 撤去	2700	黑板1800x900、掃除用具入、手洗い 撤去	
		改修後	セメント系下地調整材塗 新設	ビニル床シート t=2.5 新設	ソフト巾木 新設	75	軽量鉄骨壁下地 新設 既存壁の上 下地調整 (RB種)	石膏ボード t=12.5 E.P.2 新設 E.P.2 新設	軽量鉄骨天井下地 新設	化粧石膏ボード t=9.5 新設	2700	ホワイトボード 1800x900、掃除用具入、手洗い 新設	
	生徒会室	現況	モルタル金ゴテ 既存のまま	ビニル床シート t=2撤去	ソフト巾木 撤去	75	木製下地撤去 モルタル金ゴテ 既存のまま	ベニヤ合板貼 t=5.5 撤去 E.P.2 撤去	軽量鉄骨天井下地 撤去	化粧石膏ボード t=9.5 撤去	2700	黑板1800x900、掃除用具入、手洗い 撤去	
		改修後	セメント系下地調整材塗 新設	ビニル床シート t=2.5 新設	ソフト巾木 新設	75	軽量鉄骨壁下地 新設 既存壁の上 下地調整 (RB種)	石膏ボード t=12.5 E.P.2 新設 E.P.2 新設	軽量鉄骨天井下地 新設	化粧石膏ボード t=9.5 新設	2700	黑板1800x900、掃除用具入、手洗い 新設	
	倉庫 (生徒会)	現況	モルタル金ゴテ 既存のまま	ビニル床シート t=2撤去	ソフト巾木 撤去	75	木製下地撤去 モルタル金ゴテ 既存のまま	ベニヤ合板貼 t=5.5 撤去 E.P.2 撤去	軽量鉄骨天井下地 撤去	化粧石膏ボード t=9.5 撤去	2700		
		改修後	セメント系下地調整材塗 新設	ビニル床シート t=2.5 新設	ソフト巾木 新設	75	軽量鉄骨壁下地 新設 既存壁の上 下地調整 (RB種)	石膏ボード t=12.5 E.P.2 新設 E.P.2 新設	軽量鉄骨天井下地 新設	化粧石膏ボード t=9.5 新設	2700		
	購買室	現況	モルタル金ゴテ 既存のまま	ビニル床シート t=2撤去	ソフト巾木 撤去	75	木製下地撤去 モルタル金ゴテ 既存のまま	ベニヤ合板貼 t=5.5 撤去 E.P.2 撤去	軽量鉄骨天井下地 撤去	化粧石膏ボード t=9.5 撤去	2700	掃除用具入、手洗い 撤去	
		改修後	セメント系下地調整材塗 新設	ビニル床シート t=2.5 新設	ソフト巾木 新設	75	軽量鉄骨壁下地 新設 既存壁の上 下地調整 (RB種)	石膏ボード t=12.5 E.P.2 新設 E.P.2 新設	軽量鉄骨天井下地 新設	化粧石膏ボード t=9.5 新設	2700	掃除用具入、手洗い 新設	
A棟	3階	視聴覚教室	現況	木床組下地ベニヤ t=12 撤去	ビニル床シート t=2.5 撤去	木製 O.P.3 撤去	75	モルタル金ゴテ 既存のまま 木製下地撤去	有孔ベニヤ t=5.5 クロス貼撤去 グラスウール t50撤去	軽量鉄骨天井下地 撤去	石膏ボード 79.5+9.5 クロス貼撤去	3100 ~3830	移動教壇、スクリーンボックス、黑板4500x1200 撤去
			改修後	木床組下地ベニヤ t=12 新設	ビニル床シート t=2.5 新設	木製 O.P.3 新設	75	LGs下地グラスウール 750	有効P.B t=12.5 E.P.2 新設	軽量鉄骨天井下地 新設	石膏ボード t=9.5 ロックフォーム吸音板 t=9.5 塩ビ製廻縁	3500	移動教壇、スクリーンボックス、黑板4500x1200 新設
	視聴覚 準備室	現況	木床組下地ベニヤ t=12 撤去	ビニル床シート t=2.5 撤去	木製 O.P.3 撤去	75	木製下地撤去 モルタル金ゴテ 既存のまま	ベニヤ合板貼 t=5.5 撤去 E.P.2 撤去	軽量鉄骨天井下地 撤去	化粧石膏ボード t=9.5 撤去	2700	手洗い、黑板1800x900、掲示板1800x900、掃除用具入 撤去	
		改修後	セメント系下地調整材塗 新設	ビニル床シート t=2.5 新設	木製 O.P.3 新設	75	軽量鉄骨壁下地 新設 既存壁の上 下地調整 (RB種)	石膏ボード t=12.5 E.P.2 新設 E.P.2 新設	軽量鉄骨天井下地 新設	化粧石膏ボード t=9.5 新設	2700	手洗い、黑板1800x900、掲示板1800x900、掃除用具入 新設	
	社会科教室	現況	モルタル金ゴテ 既存のまま	ビニル床シート t=2撤去	ソフト巾木 撤去	75	木製下地撤去 モルタル金ゴテ 既存のまま	ベニヤ合板貼 t=5.5 撤去 E.P.2 撤去	軽量鉄骨天井下地 撤去	化粧石膏ボード t=9.5 撤去	3050	曲面黑板4500x1200、掲示板、スクリーンボックス、掃除用具入 撤去	
		改修後	セメント系下地調整材塗 新設	ビニル床シート t=2.5 新設	ソフト巾木 新設	75	軽量鉄骨壁下地 新設 既存壁の上 下地調整 (RB種)	石膏ボード t=12.5 E.P.2 新設 E.P.2 新設	軽量鉄骨天井下地 新設	化粧石膏ボード t=9.5 新設	3050	曲面黑板4500x1200、掲示板、掃除用具入 新設	
	社会科 準備室	現況	モルタル金ゴテ 既存のまま	ビニル床シート t=2撤去	ソフト巾木 撤去	75	木製下地撤去 モルタル金ゴテ 既存のまま	ベニヤ合板貼 t=5.5 撤去 E.P.2 撤去	軽量鉄骨天井下地 撤去	化粧石膏ボード t=9.5 撤去	2700	黑板1800x900、手洗い、資料掛フック、掃除用具入 撤去	
		改修後	セメント系下地調整材塗 新設	ビニル床シート t=2.5 新設	ソフト巾木 新設	75	軽量鉄骨壁下地 新設 既存壁の上 下地調整 (RB種)	石膏ボード t=12.5 E.P.2 新設 E.P.2 新設	軽量鉄骨天井下地 新設	化粧石膏ボード t=9.5 新設	2700	黑板1800x900、手洗い、資料掛フック、掃除用具入 新設	
	美術室 ↓ 美術室、書庫	現況	モルタル金ゴテ 既存のまま	ビニル床シート t=2撤去	ソフト巾木 撤去	75	木製下地撤去 モルタル金ゴテ 既存のまま	ベニヤ合板貼 t=5.5 撤去 E.P.2 撤去	軽量鉄骨天井下地 撤去	化粧石膏ボード t=9.5 撤去	3050	黑板4500x1200、スクリーンボックス、ステンレス流し、掃除用具入 撤去	
		改修後	セメント系下地調整材塗 新設	ビニル床シート t=2.5 新設	ソフト巾木 新設	75	軽量鉄骨壁下地 新設 既存壁の上 下地調整 (RB種)	石膏ボード t=12.5 E.P.2 新設 E.P.2 新設	軽量鉄骨天井下地 新設	化粧石膏ボード t=9.5 新設	3050	黑板4500x1200、ステンレス流し、掃除用具入 新設	
	書庫 ↓ 多目的室6	現況	モルタル金ゴテ 既存のまま	ビニル床シート t=2撤去	ソフト巾木 撤去	75	木製下地撤去 モルタル金ゴテ 既存のまま	ベニヤ合板貼 t=5.5 撤去 E.P.2 撤去	軽量鉄骨天井下地 撤去	化粧石膏ボード t=9.5 撤去	2700	黑板1800x900、流し台、掃除用具入 撤去	
		改修後	セメント系下地調整材塗 新設	ビニル床シート t=2.5 新設	ソフト巾木 新設	75	軽量鉄骨壁下地 新設 既存壁の上 下地調整 (RB種)	石膏ボード t=12.5 E.P.2 新設 E.P.2 新設	軽量鉄骨天井下地 新設	化粧石膏ボード t=9.5 新設	2700	黑板1800x900、掃除用具入 新設	
図書室	現況	モルタル金ゴテ 既存のまま	ビニル床シート t=2撤去	ソフト巾木 撤去	75	木製下地撤去 モルタル金ゴテ 既存のまま	ベニヤ合板貼 t=5.5 撤去 E.P.2 撤去	軽量鉄骨天井下地 撤去	化粧石膏ボード t=9.5 撤去	3050	カウンター、書架10台 撤去		
	改修後	セメント系下地調整材塗 新設	ビニル床シート t=2.5 新設	木製 O.P.3 新設	75	木脚縁下地	ラワン合板 t=12 杉板貼り t=12(上小節) W.S.	軽量鉄骨天井下地 新設	化粧石膏ボード t=9.5 新設	2700	カウンター、書架10台 新設		
司書室	現況	モルタル金ゴテ 既存のまま	ビニル床シート t=2撤去	ソフト巾木 撤去	75	木製下地撤去 モルタル金ゴテ 既存のまま	ベニヤ合板貼 t=5.5 撤去 E.P.2 撤去	軽量鉄骨天井下地 撤去	化粧石膏ボード t=9.5 撤去	3050	流し台L=1800、掃除用具入 撤去		
	改修後	セメント系下地調整材塗 新設	ビニル床シート t=2.5 新設	ソフト巾木 新設	75	軽量鉄骨壁下地 新設 既存壁の上 下地調整 (RB種)	石膏ボード t=12.5 E.P.2 新設 E.P.2 新設	軽量鉄骨天井下地 新設	化粧石膏ボード t=9.5 新設	2700	流し台L=1800、掃除用具入 新設		
大会議室	現況	モルタル金ゴテ 既存のまま	ビニル床シート t=2撤去	ソフト巾木 撤去	75	木製下地撤去 モルタル金ゴテ 既存のまま	ベニヤ合板貼 t=5.5 撤去 E.P.2 撤去	軽量鉄骨天井下地 撤去	化粧石膏ボード t=9.5 撤去	3050	曲面黑板3600x1200、掲示板、流し台、掃除用具入 撤去		
	改修後	セメント系下地調整材塗 新設	ビニル床シート t=2.5 新設	ソフト巾木 新設	75	軽量鉄骨壁下地 新設 既存壁の上 下地調整 (RB種)	石膏ボード t=12.5 E.P.2 新設 E.P.2 新設	軽量鉄骨天井下地 新設	化粧石膏ボード t=9.5 新設	3050	曲面巾木ボード 3600x1200、掲示板、流し台L=1800、掃除用具入 新設		

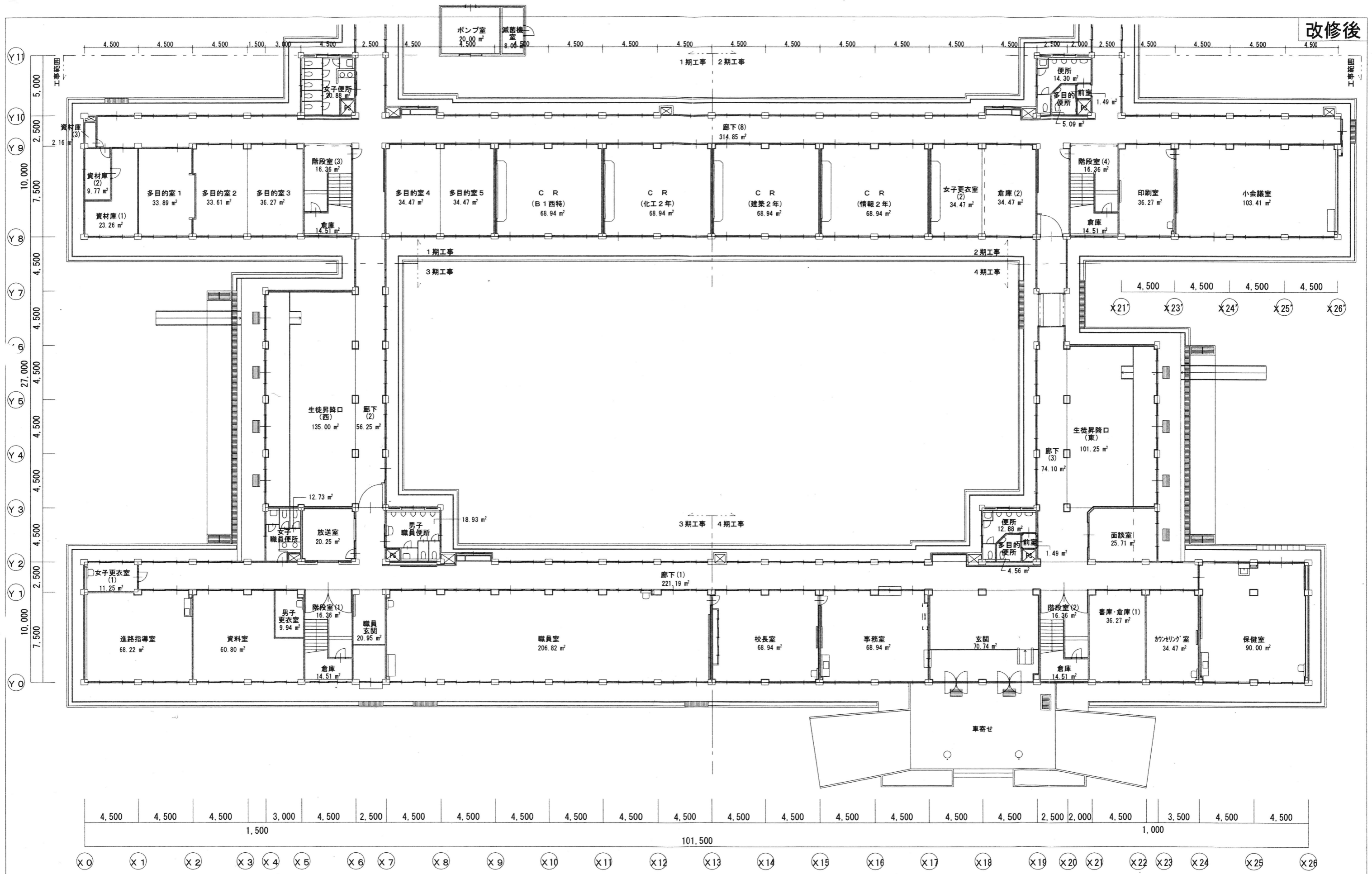
改修前



既存 1階平面図 S=1/200

MEMO	株式会社 清水公夫研究所 一級建築士事務所 福島県知事登録 第No12(512)0201号 一級建築士 建設大臣登録 第53563号 清水公夫 福島県郡山市菜根3丁目12番8号 TEL 024-922-9334 FAX 024-922-9822	特記	工事名 郡山北工業高校大規模改造工事(建築・4期)	図面名 改修前 1階平面図	図面番号 A-11	平成29年度
				縮尺 S:1:200	区分	

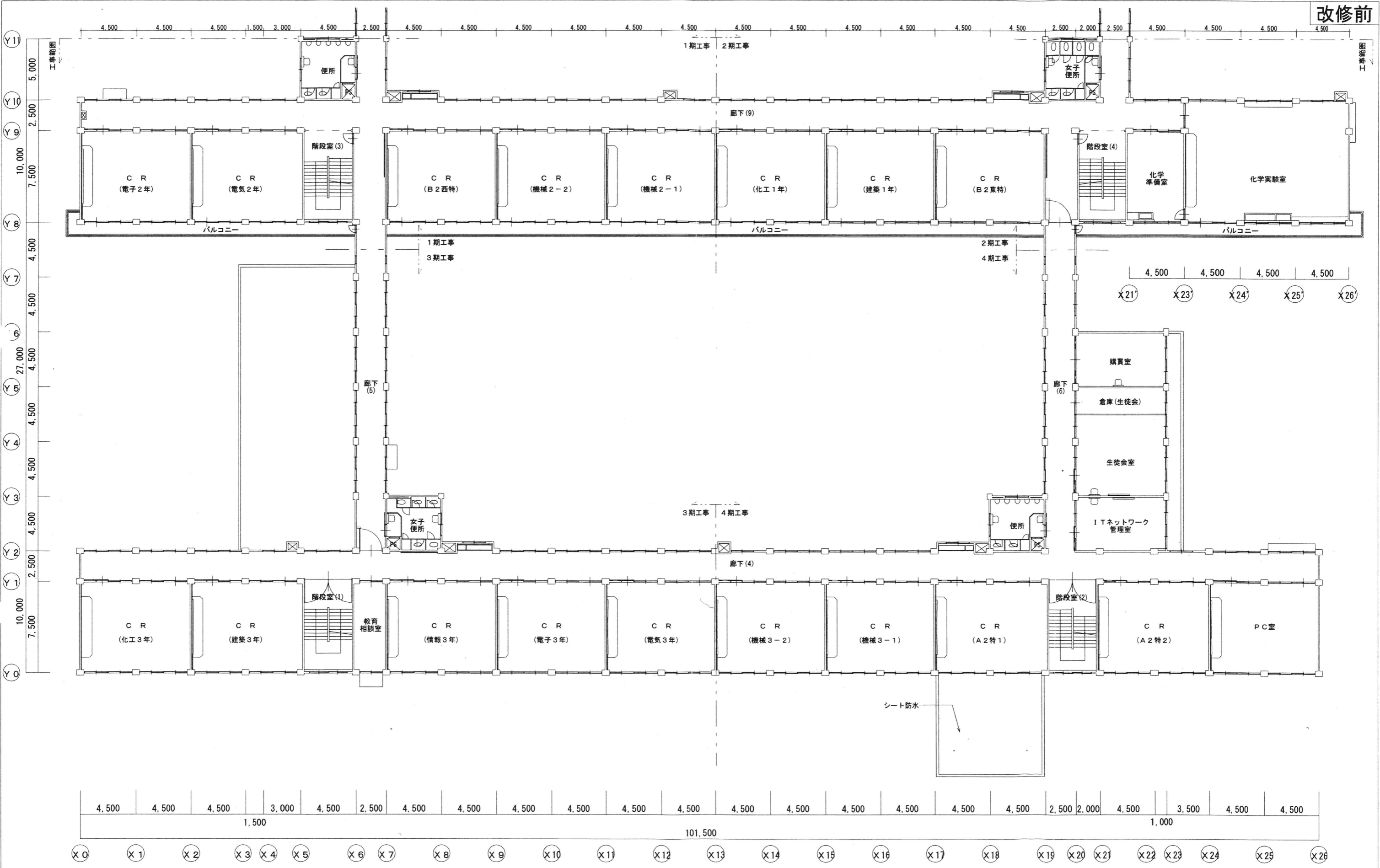
改修後



改修後 1階平面図 S=1/200

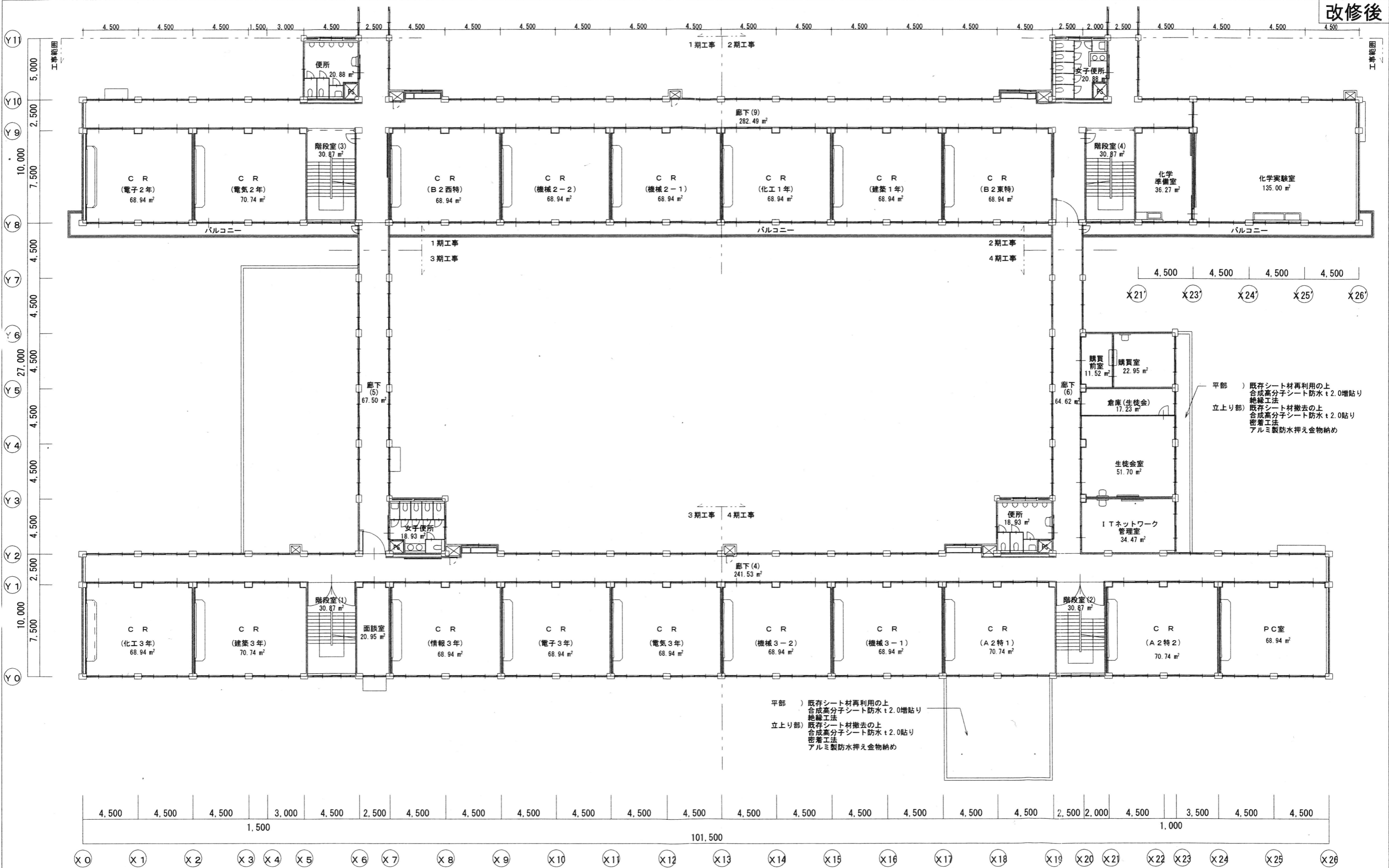
MEMO	株式会社 清水公夫研究所 一級建築士事務所 福島県知事登録 第No12(512)0201号 一級建築士 建設大臣登録 第53563号 清水公夫 福島県郡山市栗根3丁目12番8号 TEL・024-922-9334 FAX 024-922-9822	特記	工事名 郡山北工業高校大規模改造工事(建築・4期)	図面名 改修後 1階平面図	図面番号 A-12	平成29年度
			縮尺 S=1:200	区分		

改修前



既存 2階平面図 S=1/200

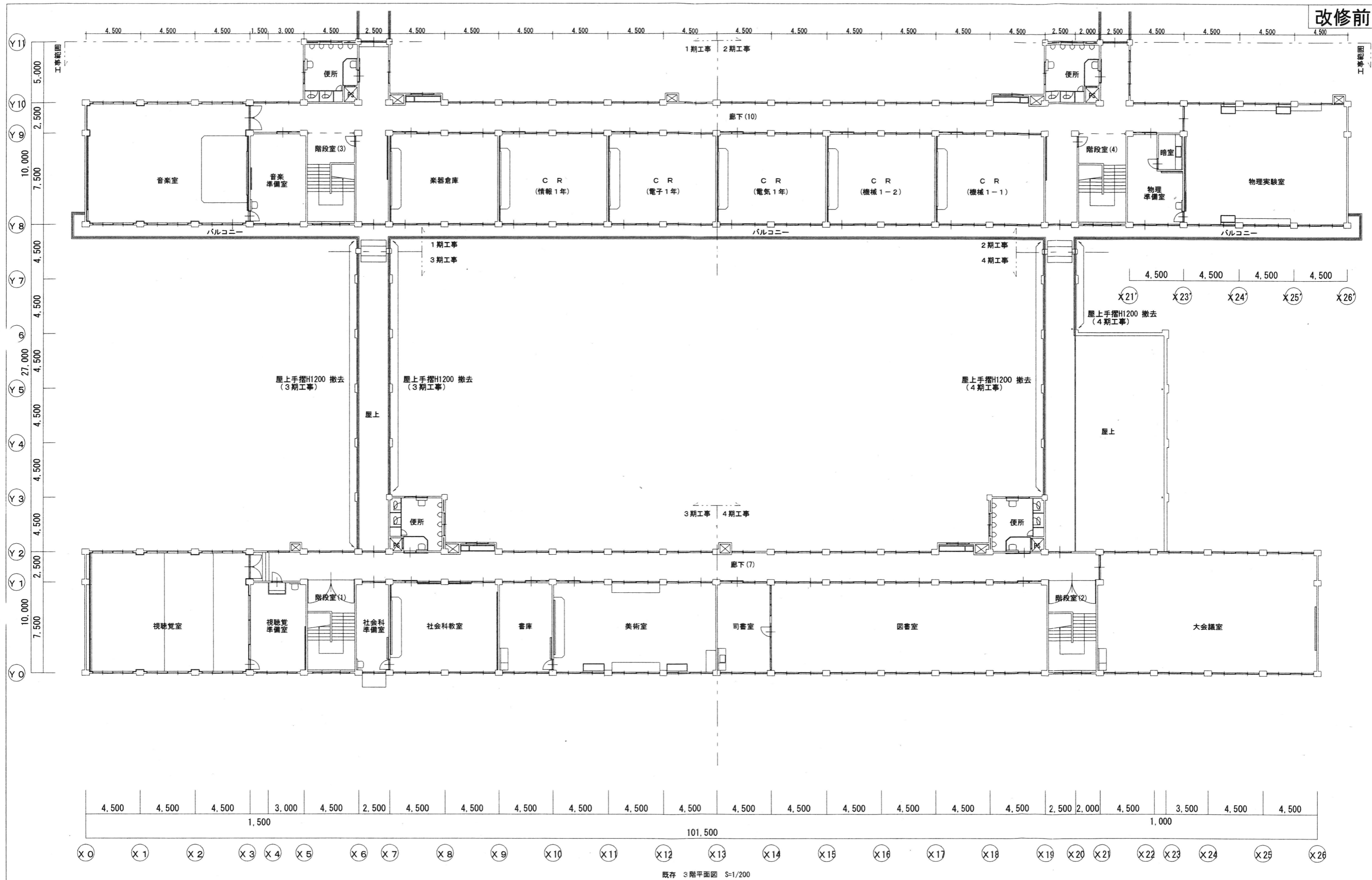
MEMO	株式会社 清水公夫研究所 一級建築士事務所 福島県知事登録 第No12(512)0201号 一級建築士 建設大臣登録 第53563号 清水公夫 福島県郡山市菜根3丁目12番8号 TEL 024-922-9334 FAX 024-922-9822	特記	工事名 郡山北工業高校大規模改修工事(建築・4期)	図面名 改修前 2階平面図	図面番号 A-13	平成29年度
				縮尺 S=1:200	区分	



改修後 2階平面図 S=1/200

MEMO	株式会社 清水公夫研究所	特記	工事名 郡山北工業高校大規模改修工事(建築・4期)	図面名 改修後 2階平面図	図面番号 A-14	平成29年度
	一級建築士事務所 福島県知事登録 第No12(512)0201号 一級建築士 建設大臣登録 第53563号 清水公夫 福島県郡山市栗根3丁目12番8号 TEL 024-922-9334 FAX 024-922-9822			縮尺 S:1:200	区分	

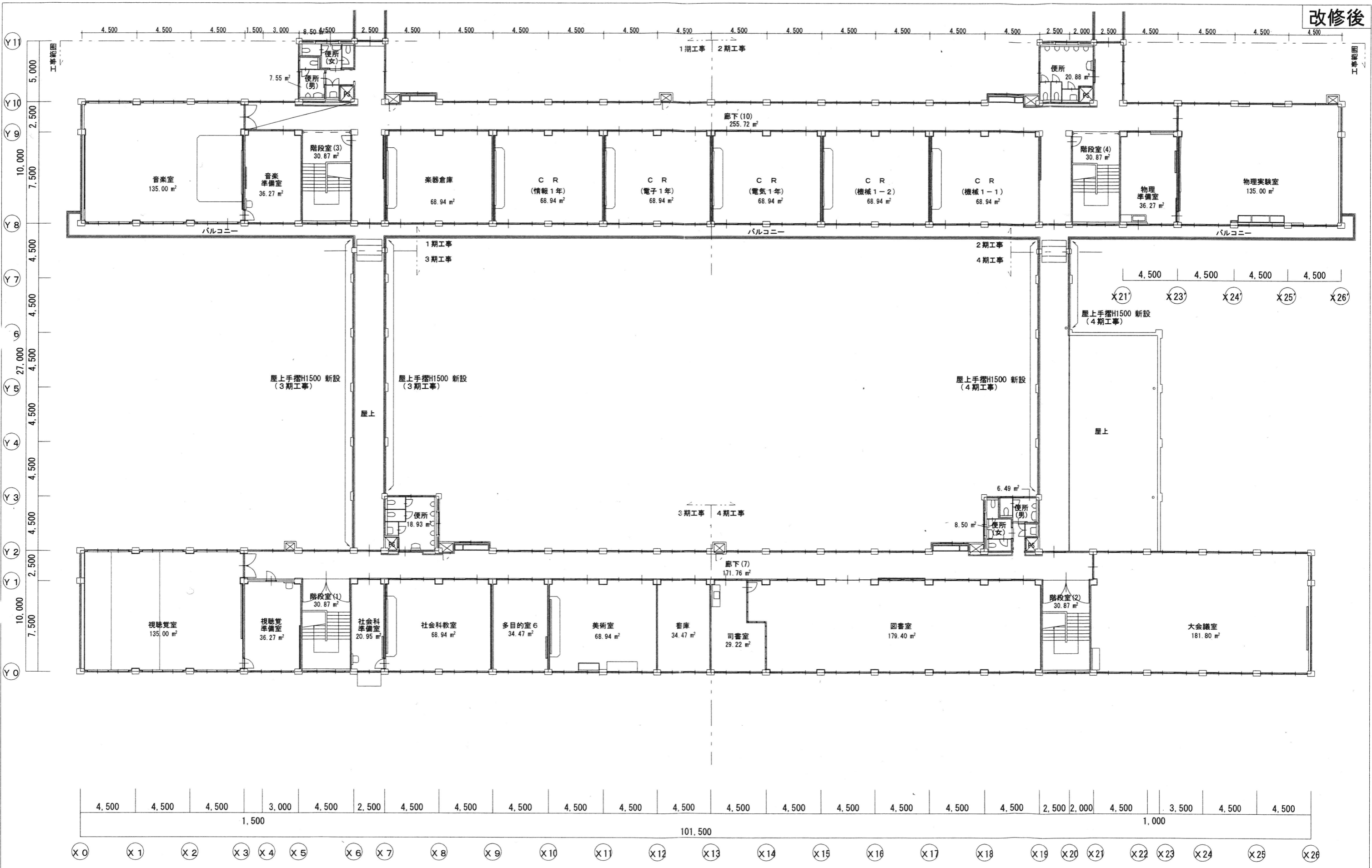
改修前



既存 3階平面図 S=1/200

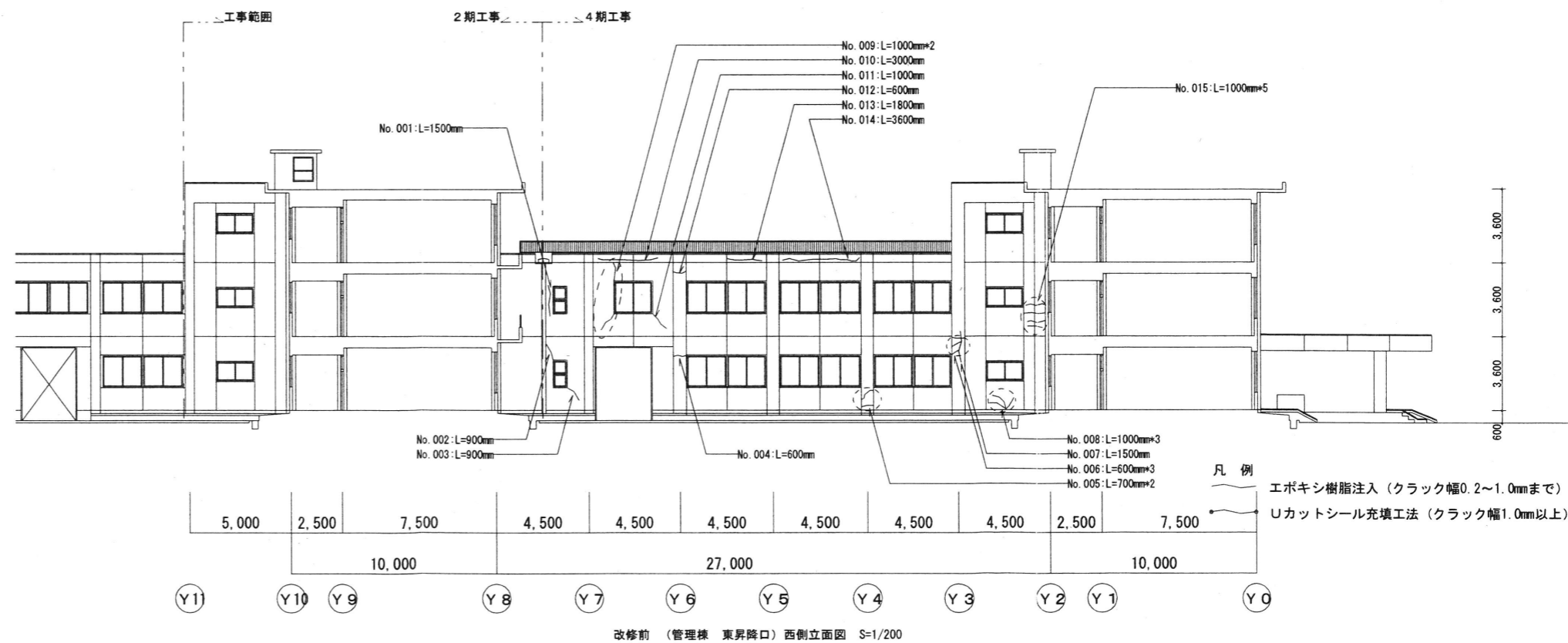
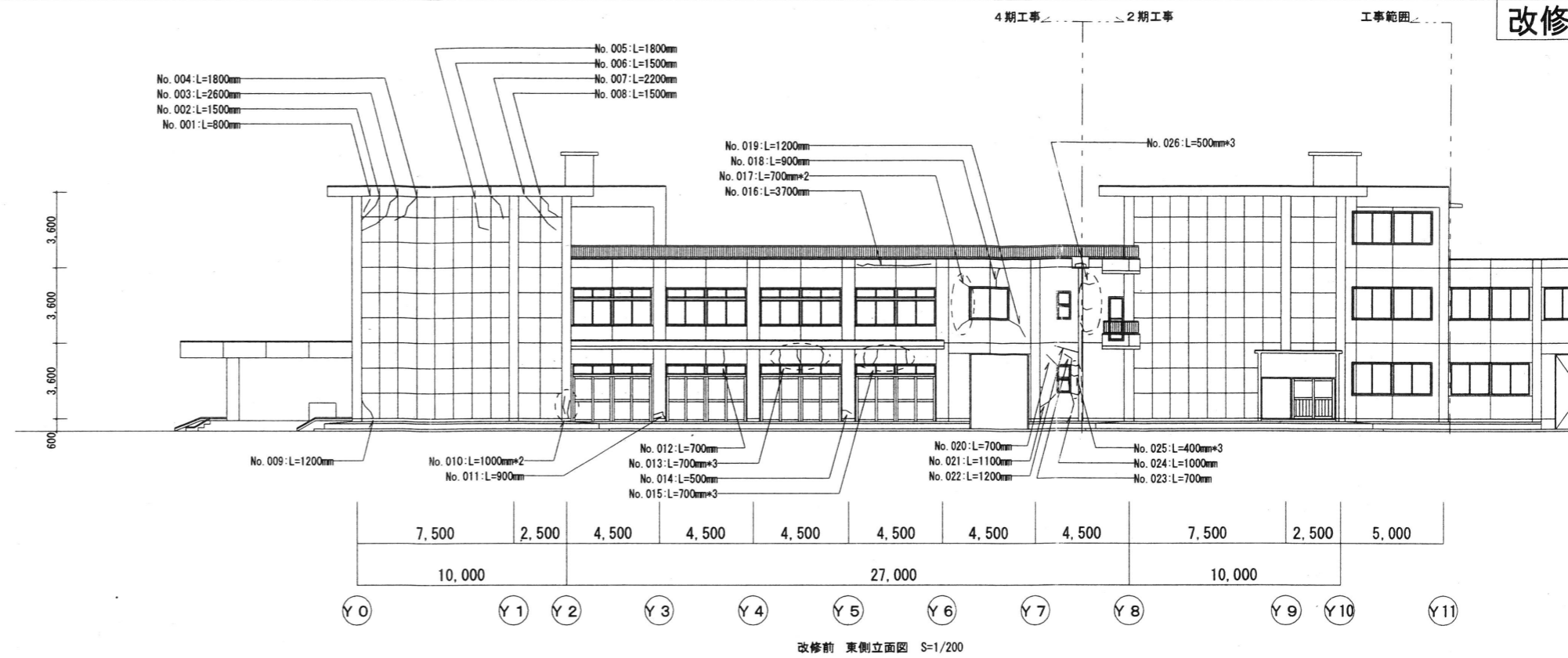
MEMO	株式会社 清水公夫研究所 一級建築士事務所 福島県知事登録 第No12(512)0201号 一級建築士 藤股大臣登録 第53563号 清水公夫 福島県郡山市菜根3丁目12番8号 TEL 024-922-9334 FAX 024-922-9822	特記	工事名 郡山北工業高校大規模改修工事(建築・4期)	図面名 改修前 3階平面図	図面番号 A-15	平成29年度
				縮尺 S=1:200	区分	

改修後



改修後 3階平面図 S=1/200

MEMO	株式会社 清水公夫研究所 一級建築士事務所 福島県知事登録 第No12(512)0201号 一級建築士 建設大臣登録 第53563号 清水公夫 福島県郡山市菜根3丁目12番8号 TEL 024-922-9334 FAX 024-922-9822	特記	工事名 郡山北工業高校大規模改修工事(建築・4期)	図面名 改修後 3階平面図	図面番号 A-16	平成29年度
				縮尺 S=1:200	区分	

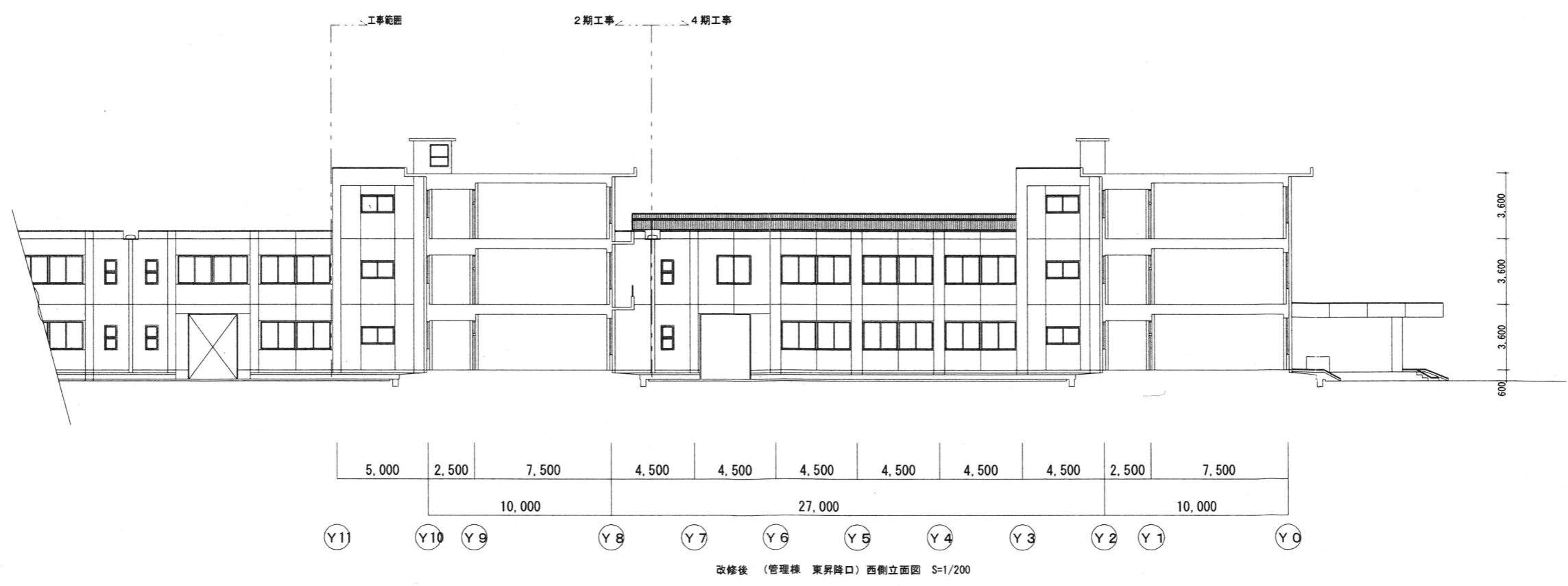
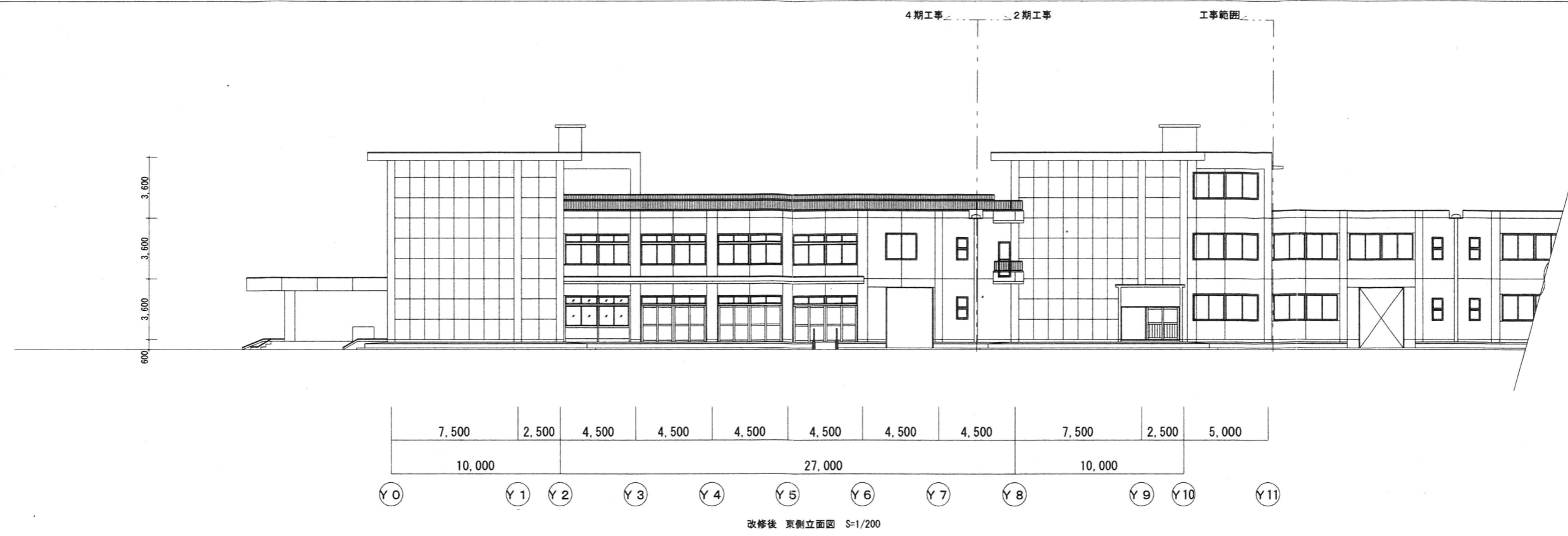


	基礎・巾木	外壁	屋根	軒天	その他
改修前	(巾木) 杉材刷毛引 (大走) コンクリート直金子仕上げ 杉材パシオン目地 (57x91目地t=20) 一部 杉材子仕上げ 目地切(縦房仕上げ)	(外壁) 杉材刷毛引 合成樹脂珪酸塩 塗替え	(屋根) シート防水 (笠木) 7x既製品W250	(軒天) 杉材刷毛引 合成樹脂珪酸塩 塗替え	(7x既製品) 周囲部シーリング 撤去 (割溝) コンクリート打放 杉材パシオン目地 底部杉材仕上げ 水勾配付
改修後	既存のまま	(外壁) 既存塗膜除去 サンド-工法 高圧洗浄 防水型複層塗材 E	(屋根) 既存シート材再利用の上 合成高分子シート防水t=2.0増貼 絶縁工法 立上部) 既存シート材撤去の上 合成高分子シート防水t=2.0貼 密着工法 7x既製品防水押え金物納め (笠木) 7x既製品W250 取外し再取付	(軒天) 既存塗膜除去 サンド-工法 高圧洗浄 防水型複層塗材 E (一部) コンクリート欠損部及び鉄筋腐蝕部補修	(7x既製品) 周囲部シーリング MS-2 10~15 新設 (割溝) 既存のまま

内部クラック集計表 (4期工事範囲)			外部クラック集計表 (4期工事範囲)		
凡例	工期	4期工事	凡例	工期	4期工事
エポキシ樹脂注入 (クラック幅0.2~1.0mmまで)		200m	エポキシ樹脂注入 (クラック幅0.2~1.0mmまで)		262.7m
Uカットシール充填工法 (クラック幅1.0mm以上)		0m	Uカットシール充填工法 (クラック幅1.0mm以上)		0m

※外部・内部 (床・壁・天井) とともに躯体数量調査を行い 監督員に報告すること

MEMO	株式会社 清水公夫研究所 一級建築士事務所 福島県知事登録 第No12(512)0201号 一級建築士 建設大臣登録 第53563号 清水公夫 福島県郡山市菜根3丁目12番8号 TEL 024-922-9334 FAX 024-922-9822	特記	工事名 郡山北工業高校大規模改修工事(建築・4期)	図面名 A棟 改修前 立面図(1)	図面番号 A-17	平成29年度
				縮尺 S=1:200	区分	



MEMO

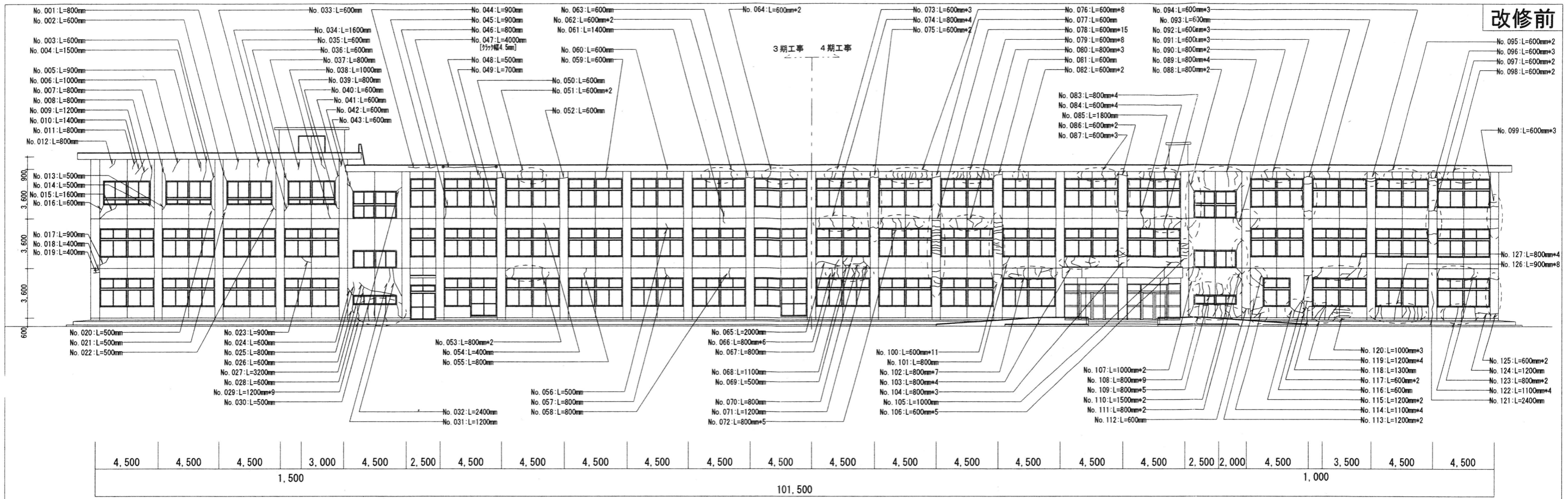
株式会社 清水公夫研究所
 一級建築士事務所 福島県知事登録 第No12(512)0201号
 一級建築士 建設大臣登録 第53563号 清水公夫
 福島県郡山市菜根3丁目12番8号 TEL 024-922-9334 FAX 024-922-9822

特記

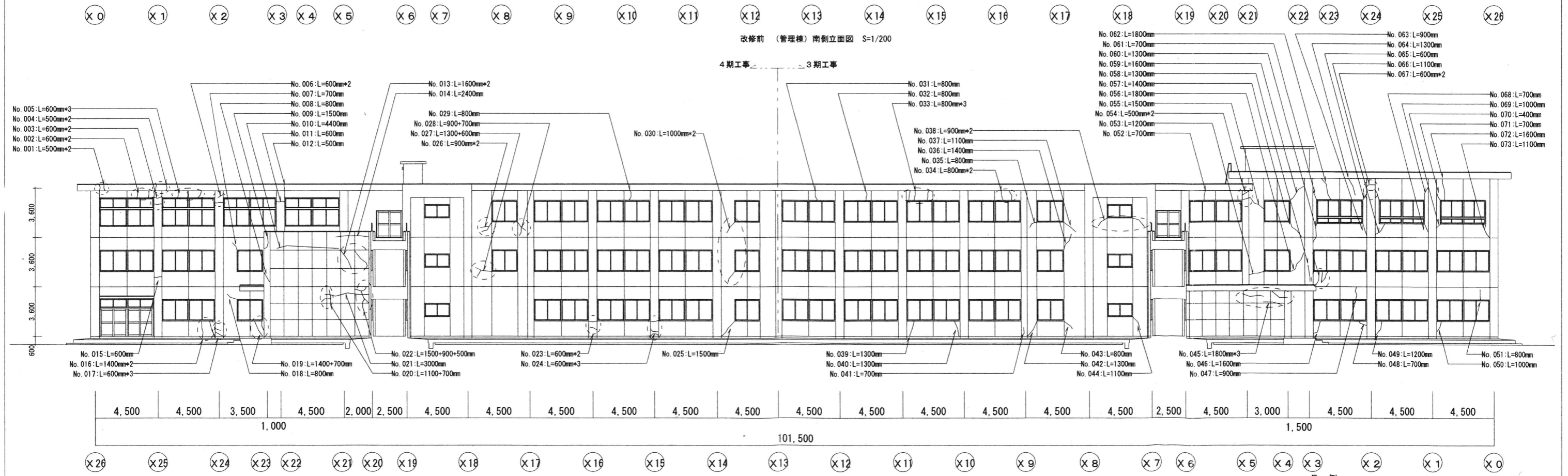
工事名
 郡山北工業高校大規模改造工事(建築・4期)

図面名
 A棟 改修後 立面図(1)
 縮尺
 S=1:200

図面番号
 A-18
 区分
 平成29年度



改修前 (管理棟) 南側立面図 S=1/200

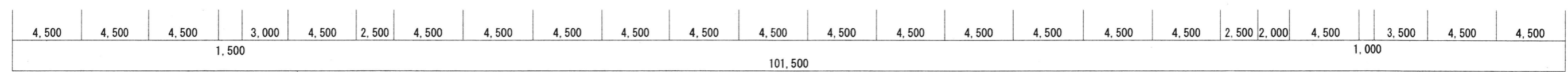
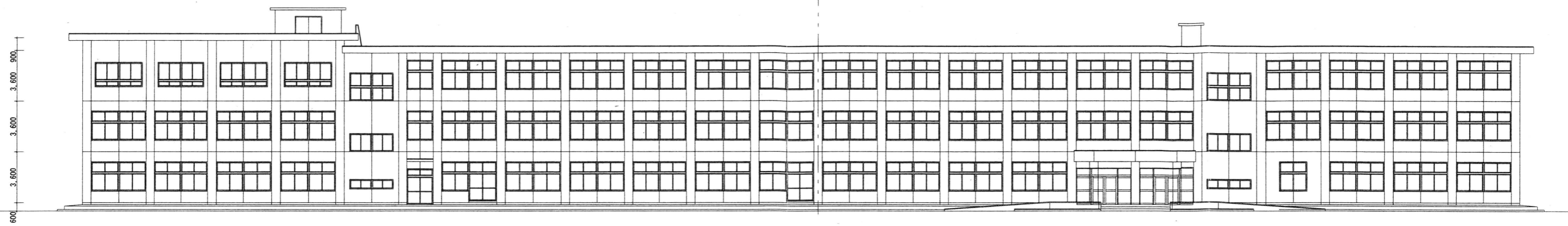


改修前 (管理棟) 北側立面図 S=1/200

凡例
 - エポキシ樹脂注入 (クラック幅0.2~1.0mmまで)
 - Uカットシール充填工法 (クラック幅1.0mm以上)

MEMO	株式会社 清水公夫研究所 一級建築士事務所 福島県知事登録 第No12(512)0201号 一級建築士 建設大臣登録 第53563号 清水公夫 福島県郡山市菜根3丁目12番8号 TEL 024-922-9334 FAX 024-922-9822	特記	工事名 郡山北工業高校大規模改修工事(建築・4期)	図面名 A棟 改修前 立面図(2)	図面番号 A-19	平成29年度
				縮尺 S=1:200	区分	

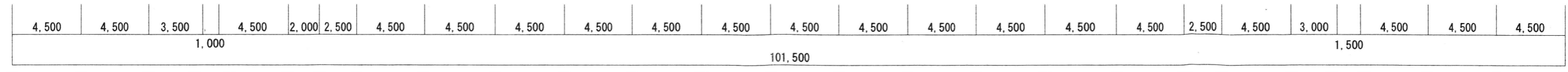
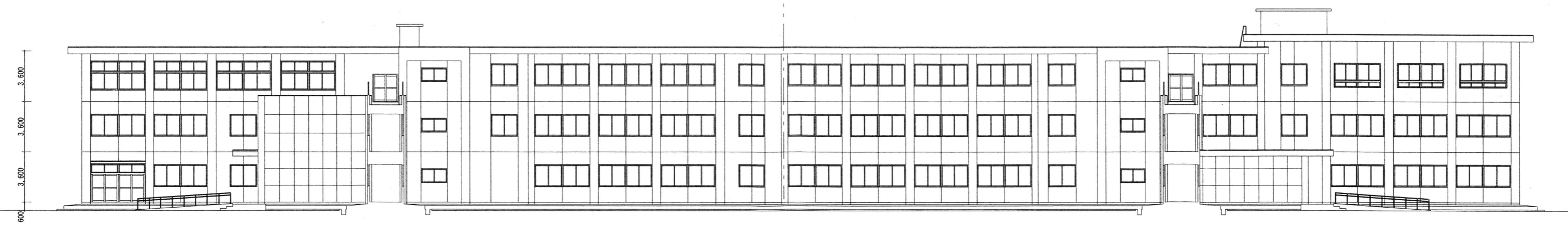
3期工事 4期工事



X0 X1 X2 X3 X4 X5 X6 X7 X8 X9 X10 X11 X12 X13 X14 X15 X16 X17 X18 X19 X20 X21 X22 X23 X24 X25 X26

改修後 (管理棟) 南側立面図 S=1/200

4期工事 3期工事



X26 X25 X24 X23 X22 X21 X20 X19 X18 X17 X16 X15 X14 X13 X12 X11 X10 X9 X8 X7 X6 X5 X4 X3 X2 X1 X0

改修後 (管理棟) 北側立面図 S=1/200

MEMO

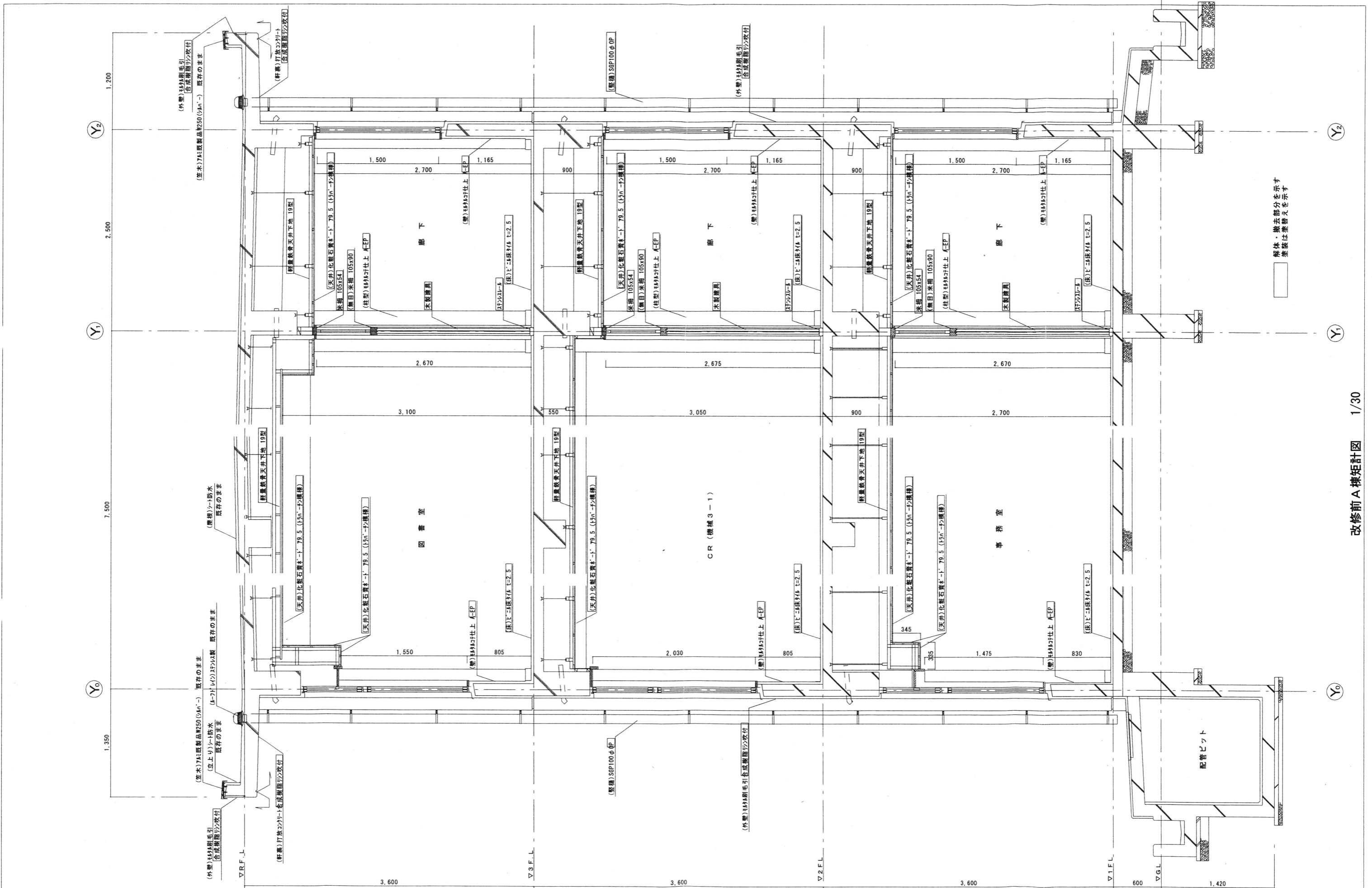
株式会社 清水公夫研究所
 一級建築士事務所 福島県知事登録 第No12(512)0201号
 一級建築士 建設大臣登録 第53563号 清水公夫
 福島県郡山市東根3丁目12番8号 TEL 024-922-9334 FAX 024-922-9822

特記

工事名
 郡山北工業高校大規模改修工事(建築・4期)

図面名
 A棟 改修後 立面図(2)
 縮尺
 S=1:200

図面番号
 A-20
 区分
 平成29年度



解体・撤去部分を示す
 塗漆は塗替えを示す

MEMO

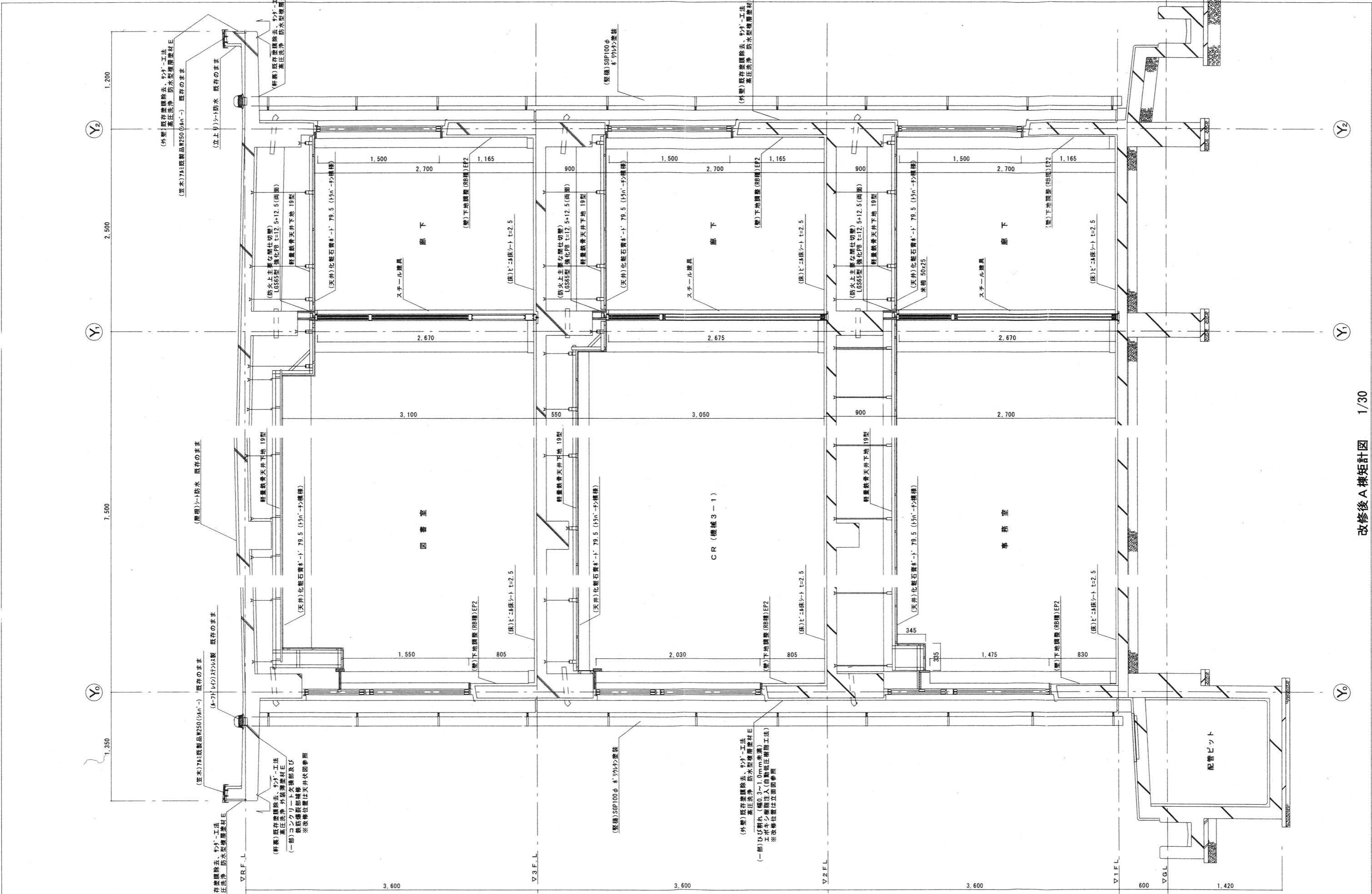
株式会社 清水公夫研究所
 一級建築士事務所 福島県知事登録 第No12(512)0201号
 一級建築士 建設大臣登録 第53563号 清水公夫
 福島県郡山市菜根3丁目12番8号 TEL 024-922-9334 FAX 024-922-9822

特記

工事名
 郡山北工業高校大規模改修工事(建築・4期)

図面名
 改修前A棟矩計図(1)
 縮尺
 S:1:30

図面番号
 A-21
 平成29年度
 区分



MEMO

株式会社 清水公夫研究所
 一般建築士事務所 福島県知事登録 第No12(512)0201号
 一般建築士 建設大臣登録 第53563号 清水公夫
 福島県郡山市菜根3丁目12番8号 TEL 024-922-9334 FAX 024-922-9822

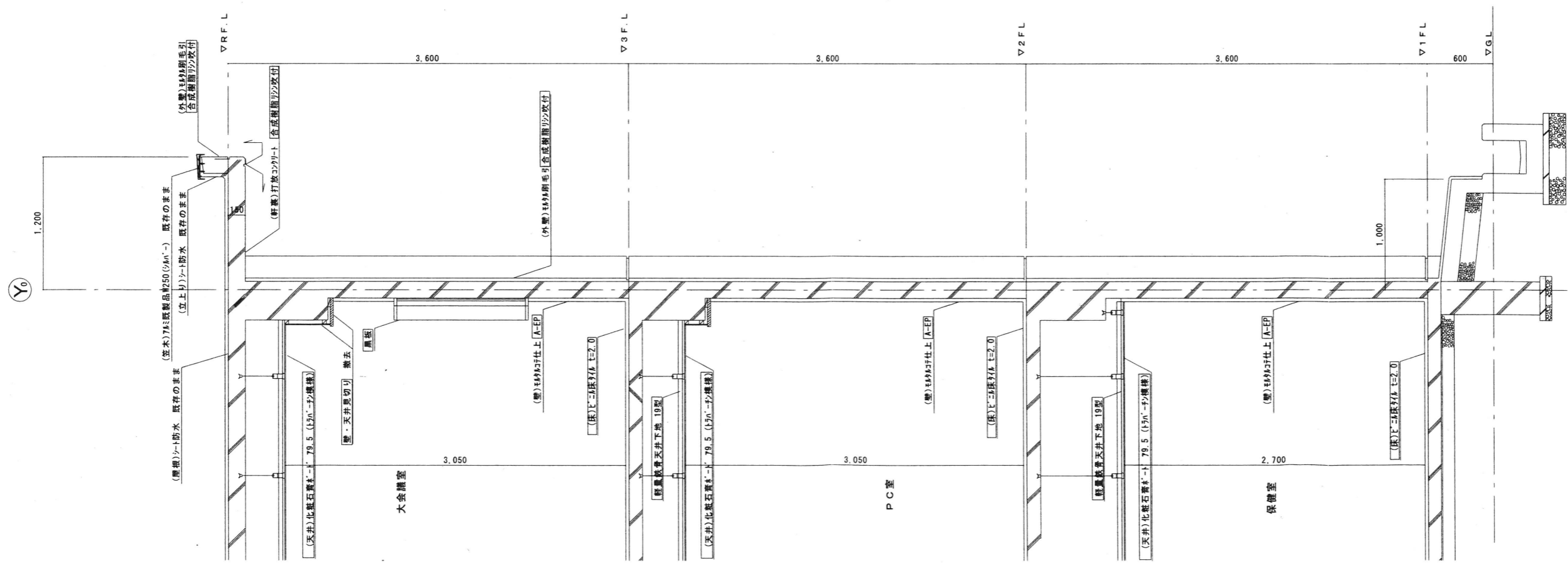
特記

工事名
 郡山北工業高校大規模改修工事(建築・4期)

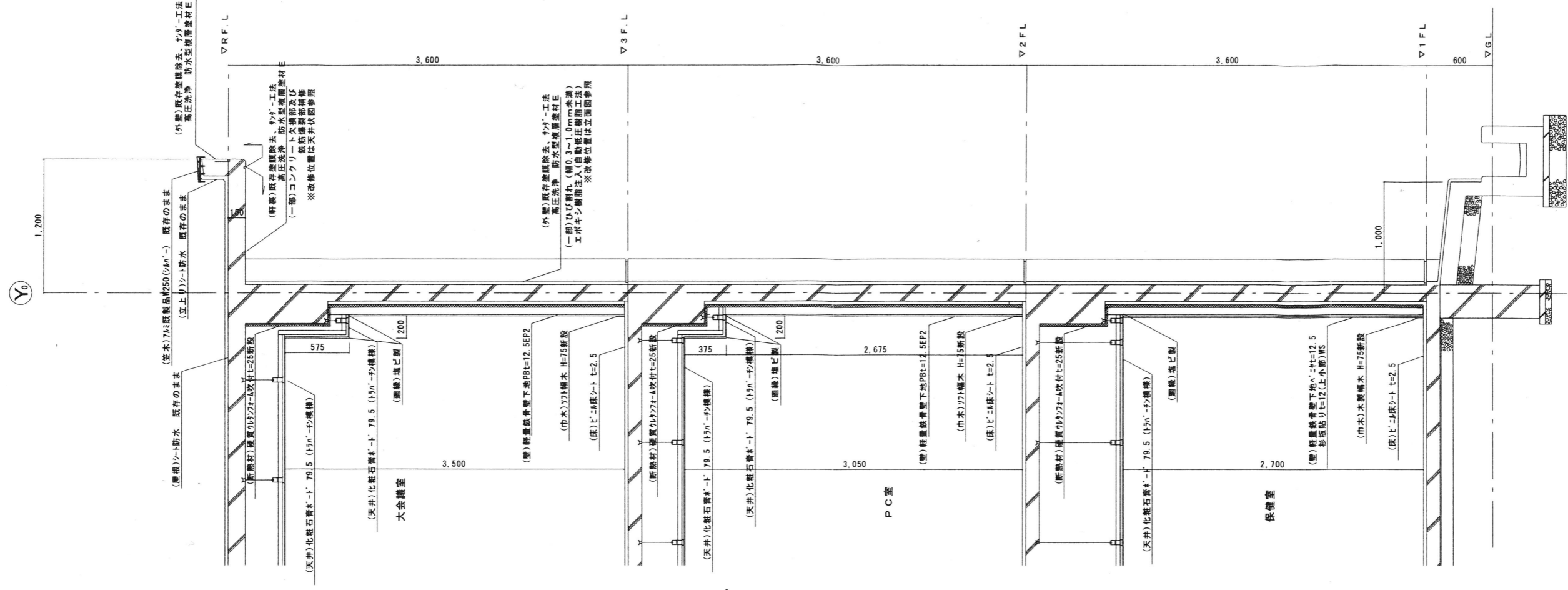
図面名
 改修後A棟平面図(1)

縮尺
 S-1:30

図面番号
 A-22
 区分
 平成29年度



改修前 A 棟矩計図 (2) 1/30



改修後 A 棟矩計図 (2) 1/30

MEMO

株式会社 清水公夫研究所
 一級建築士事務所 福島県知事登録 第No12(512)0201号
 一級建築士 建設大臣登録 第53563号 清水公夫
 福島県郡山市菜根3丁目12番8号 TEL 024-922-9334 FAX 024-922-9822

特記

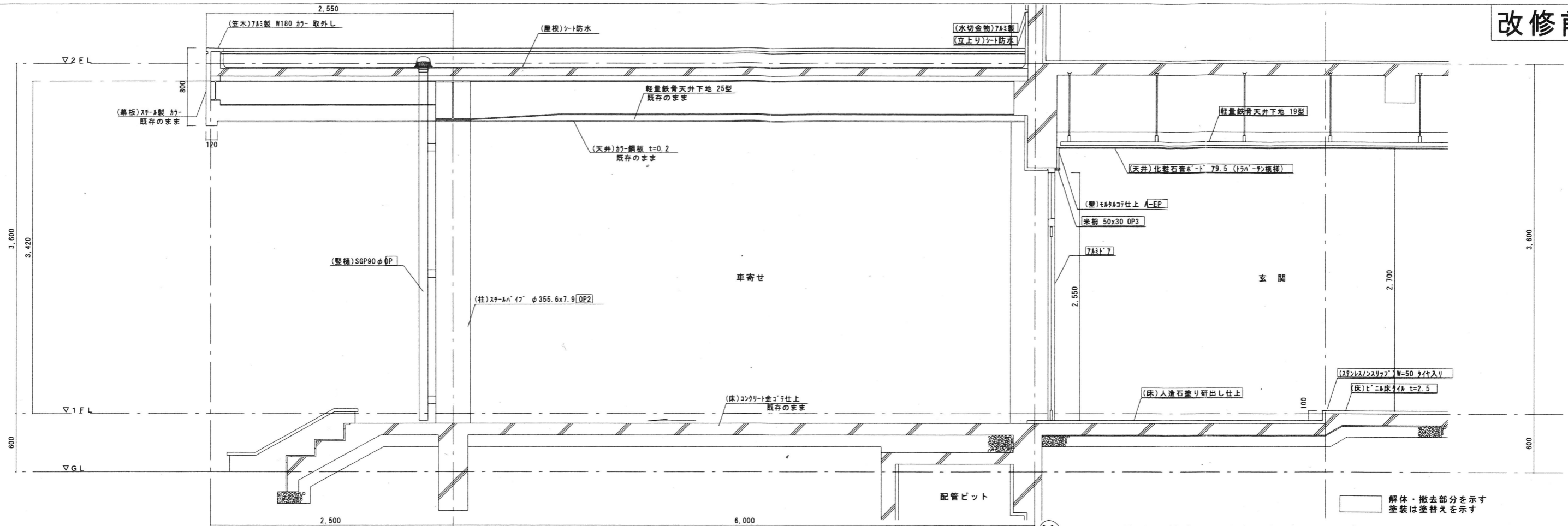
工事名
 郡山北工業高校大規模改造工事(建築・4期)

図面名
 改修前・後A棟矩計図(2)

縮尺
 S=1:30

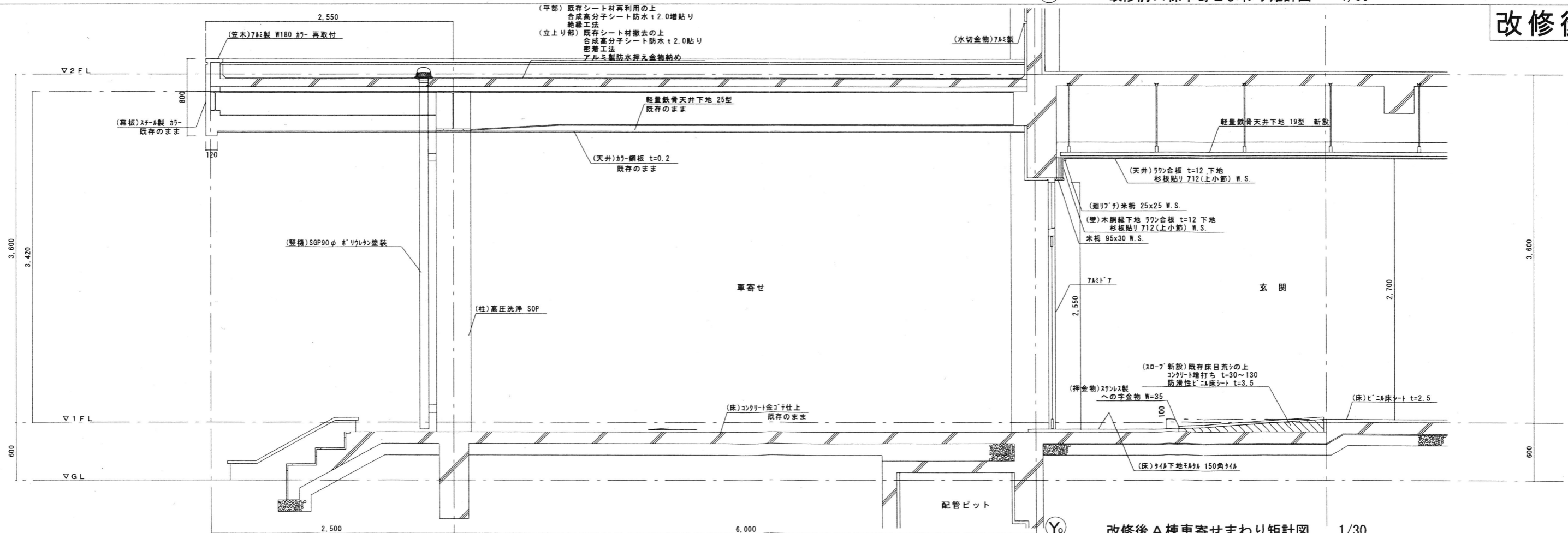
図面番号
 A-23
 区分
 平成29年度

改修前



改修前 A棟車寄せまわり矩計図 1/30

改修後



改修後 A棟車寄せまわり矩計図 1/30

MEMO

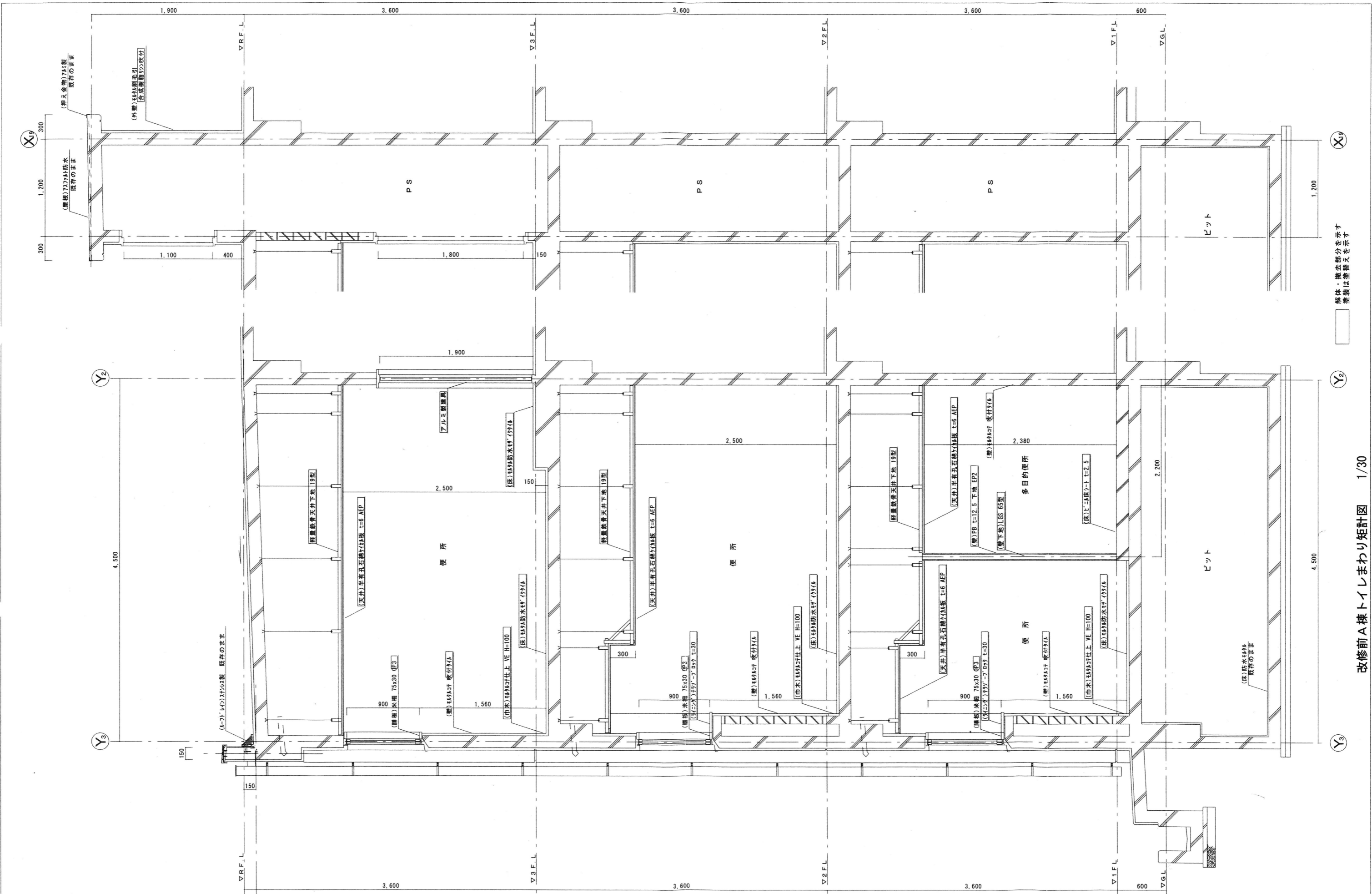
株式会社 清水公夫研究所
 一級建築士事務所 福島県知事登録 第No12(512)0201号
 一級建築士 建設大臣登録 第53563号 清水公夫
 福島県郡山市菜根3丁目12番8号 TEL 024-922-9334 FAX 024-922-9822

特記

工事名
 郡山北工業高校大規模改修工事(建築・4期)

図面名
 A棟車寄せまわり矩計図
 縮尺
 S=1:30

図面番号
 A-24
 区分
 平成29年度



解体・撤去部分を示す
 塗装は塗替えを示す

MEMO

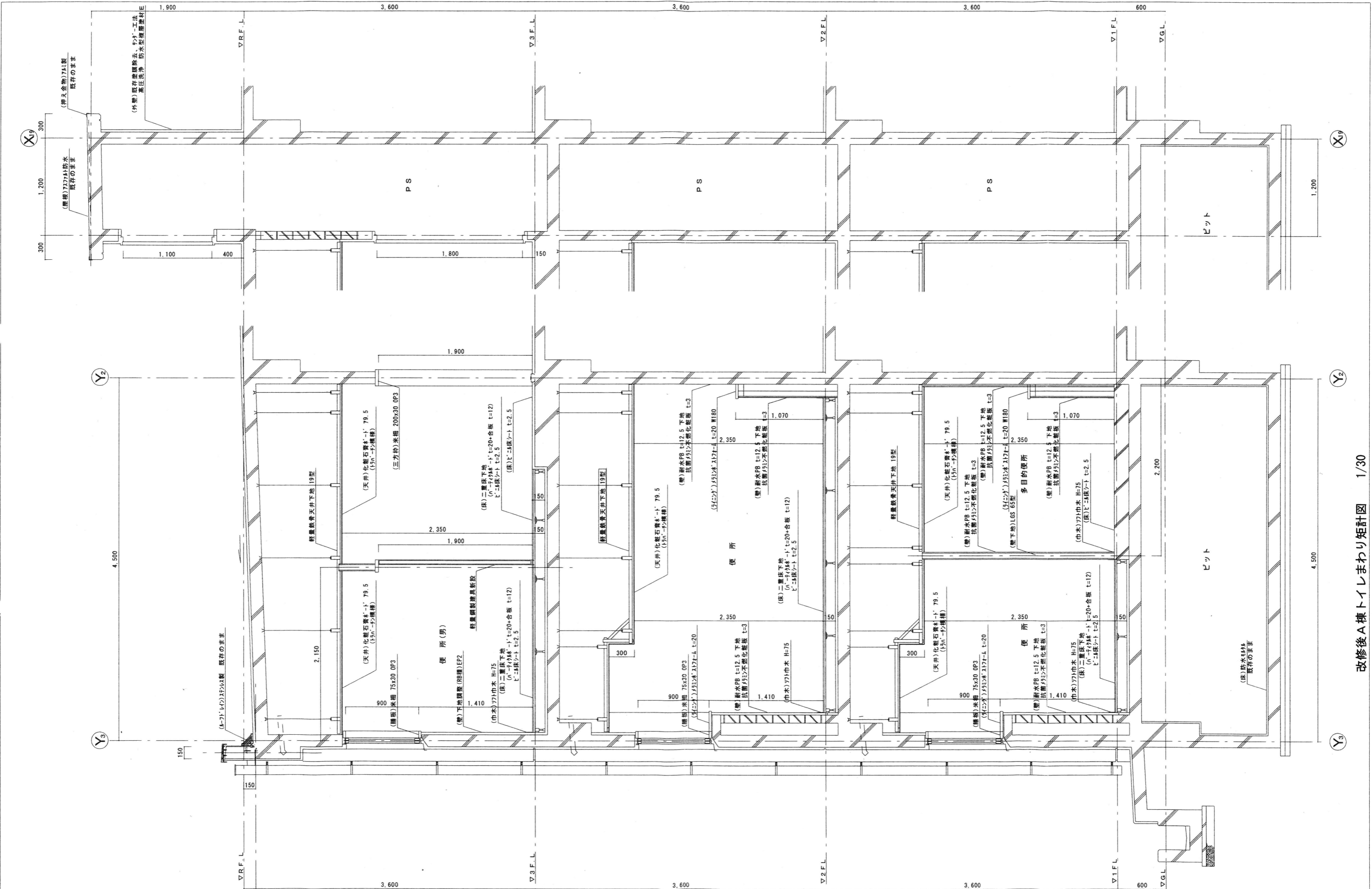
株式会社 清水公夫研究所
 一級建築士事務所 福島県知事登録 第No12(512)0201号
 一級建築士 建設大臣登録 第53563号 清水公夫
 福島県郡山市菜根3丁目12番8号 TEL 024-922-9334 FAX 024-922-9822

特記

工事名
 郡山北工業高校大規模改修工事(建築・4期)

図面名
 改修前A棟トイレまわり矩計図
 縮尺
 S:1:30

図面番号
 A-25
 区分
 平成29年度



MEMO

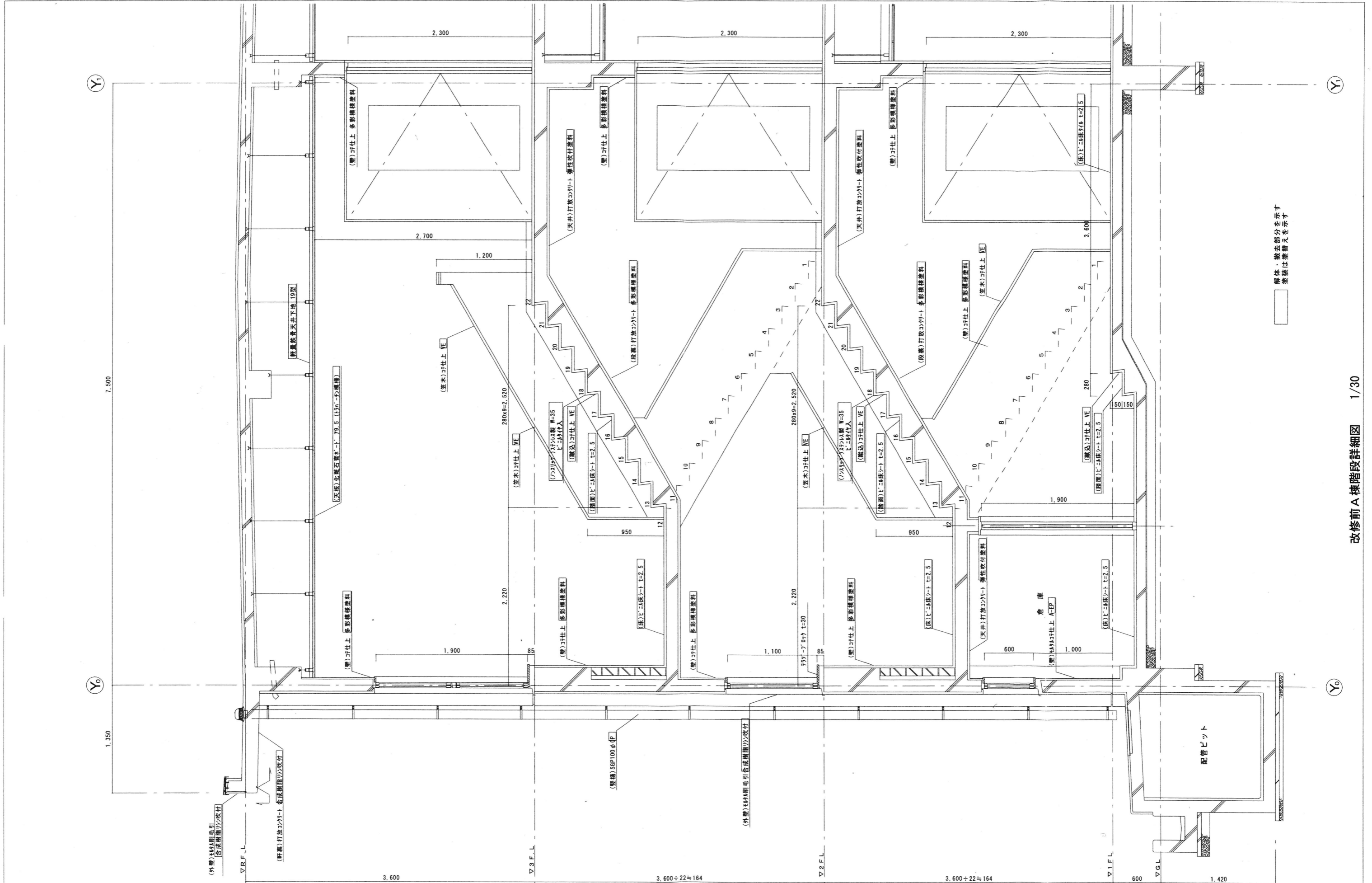
株式会社 清水公夫研究所
 一級建築士事務所 福島県知事登録 第No12(512)0201号
 一級建築士 建設大臣登録 第53563号 清水公夫
 福島県郡山市菜根3丁目12番8号 TEL 024-922-9334 FAX 024-922-9822

特記

工事名
 郡山北工業高校大規模改修工事(建築・4期)

図面名
 改修後A棟トイレまわり矩計図
 縮尺
 S=1:30

図面番号
 A-26
 平成29年度
 区分



解体・撤去部分を示す
 着数は差替えを示す

MEMO

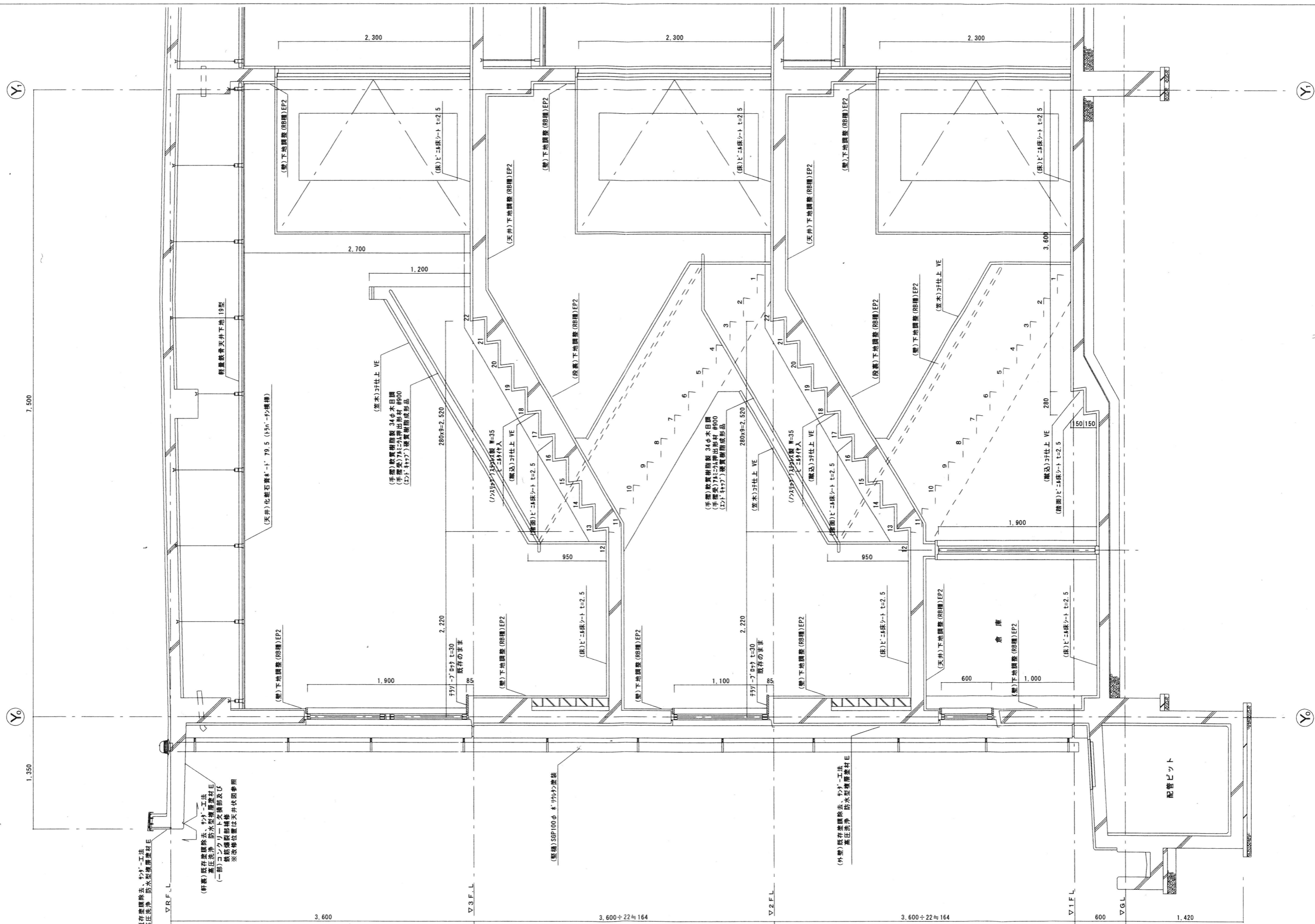
株式会社 清水公夫研究所
 一級建築士事務所 福島県知事登録 第No12(512)0201号
 一級建築士 建設大臣登録 第53563号 清水公夫
 福島県郡山市菜根3丁目12番8号 TEL 024-922-9334 FAX 024-922-9822

特記

工事名
 郡山北工業高校大規模改修工事(建築・4期)

図面名
 改修前A棟階段詳細図
 縮尺
 S:1:30

図面番号
 A-27
 平成29年度
 区分



MEMO

(外観) 既存塗膜除去、ササ工法
高圧洗浄 防水型塗膜剥離剤E

株式会社 清水公夫研究所
一級建築士事務所 福島県知事登録 第No12(512)0201号
一級建築士 建設大臣登録 第53563号 清水公夫
福島県郡山市栗根3丁目12番8号 TEL 024-922-9334 FAX 024-922-9822

特記

工事名
郡山北工業高校大規模改修工事(建築・4期)

図面名
改修後A棟階段詳細図

縮尺
S:1:30

図面番号
A-28

区分

平成29年度